

令和 6 年度

健康づくりセンター管理運営業務報告書
(事業報告書)

札幌市健康づくりセンター指定管理者
一般財団法人札幌市スポーツ協会

目次

・事業実施状況

I 指定管理事業	2
1 健康増進事業	2
2 利用促進事業	4
3 運動指導事業	4
4 利用勧奨事業	5
5 女性のフレッシュ健診	5
6 健康増進に関する情報の収集・提供	5
7 その他センターの設置目的を達成するために実施する事業	7
II 受託事業	8
1 健診関係	8
2 事業関係	8
III 自主事業	9
1 健康づくり活動の支援事業	9
2 派遣事業	11
3 地域コミュニティ支援事業	12
4 研修事業	12
5 その他	12
IV 総利用者数	15
V 施設の使用承認等	16
1 利用料金の徴収	16
2 利用料金の減額及び免除	17
3 収支報告	17
VI 利用促進に係る業務	17
1 供用期間・時間の拡大	17
2 広報業務	17
VII 統括管理業務	18
1 札幌市及び関係機関との連絡調整	18
2 職員研修	18
3 アンケート調査の実施	18
4 施設・設備等の維持管理	19
5 防災業務	20

・添付資料

- I 団体の運営状況を表す事業報告
- II 団体の経営状況を説明する書類

事業実施状況

札幌市民一人ひとりの健康づくり活動を支援するため、健康づくりに関する普及啓発、情報提供、その他健康増進に関する事業を行う事によって、市民の健康向上に寄与することを目的に次の事業を行った。

◆中央センター 管理体制の変更及び改修工事休館に伴う作業等

1 改修工事に伴う休館、西健康づくりセンターでの健診事業実施

(1)休館期間

令和5年10月1日～令和7年4月30日まで

I 指定管理業務

1 健康増進事業(西)

市民一人ひとりが、安全でより効果的な健康づくり活動を実践することを目的に、医学的検査や体力測定により個々の健康状態を把握し、これにより得た結果を基に必要な指導を行った。

【中央センター休館に伴う対応】

西センターにて以下の体制で健康増進事業を継続するにあたり、限られたスペースを活用して事業を実施するため、必要な部屋や備品数などの限定により、複数人数が同時進行でおこなっていた検査等ができないなど、受入れ人数を制限せざるを得ない状況での実施となった。

西健康づくりセンターでの健診事業実施体制について

・移転実施による変更点

	変更前(中央センター)	変更後(西センター)	移転による影響
運動負荷心電図用バイク	6台	3台	同時進行での診察・負荷検査・結果説明が不可
診察室(診察スペース)	2か所	1か所	
安静時心電図	2台	1台	
頸部エコー検査実施場所	安静時心電図検査と別室 両検査を同時実施可能	安静時心電図と同スペースに 設置、両検査を同時実施不可	同時進行での検査が不可
指導ブース (保健・栄養・運動)	3か所	2か所	同時進行での結果説明 や指導が不可
尿検体採取	館内で採取	自宅で採取 (尿スピッツを新たに購入・使用)	
更衣室	健診フロア更衣室	体力測定室内に設置 (同時使用最大2名)	利便性の低下
待機場所	ロビースペースあり	健診専用の待機場所なし (廊下等で待機)	
最大受入可能人数	42人/週	27人/週	受入可能人数の減少

(1)健康度測定

運動負荷心電図検査を含むメディカルチェックと体力測定、生活活動調査、食生活分析の結果をもとに、個々の健康状態や体力及びライフスタイルに応じたアドバイスと運動プログラムの作成及び個別運動指導など、生活習慣の改善を支援する指導を行った(週5日)。

ア 一般コース(18歳以上の方)

基礎的な医学的検査、運動負荷心電図検査、体力測定などを行い、これらの結果に基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

イ 簡易コース(18歳以上の方)

6ヶ月以内の健康診断結果(血液検査)を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

ウ 特定健診簡易コース

各保険者が行なう特定健康診査の結果を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

施設	事業名			対象者	実施回数(回)	受診者数(人)
西	健康度 測定	一般コース		一般市民	324 回 ・午前受付199回 ・午後受付125回	36
		簡易コース	単独	健診データ持参 (6ヶ月以内)		921
			特定簡易	特定健診併用者		197
	合 計					

利用促進の取組

- 「簡易コース」を午後に実施することで利便性を向上
- 特定健康診査・後期高齢者健診と簡易コースを同時に行う「特定簡易コース」を設定
- 日曜日に実施
- 健康度測定受診に対する助成(札幌市中小企業共済センターと協定に基づく受診料への助成)
- 教室受講料割引(運動教室・健康サポート教室)

※健康度測定受診者のうち重視する対象者 961名(83.3%) (人)

生活習慣病 発症予防対象者	生活習慣病 重症化予防対象者	要介護・要支援 予防対象者	要介護・要支援 認定者	障がい者
145	822	0	29	98

※項目が重複している方がいるため、重視する対象者の総数とは一致しない。

【コース・年代別受診者内訳】

(1)一般コース受診者数

区分	総数(人)	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	実施回数
総数	36	1	10	3	2	7	8	5	28
男	17	1	5	2	2	2	3	2	
女	19	—	5	1	—	5	5	3	

(2)簡易コース受診者数(簡易コース+特定簡易コース)

区分	総数(人)	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	実施回数
総数	1,118	15	7	11	41	132	308	604	322
男	355	1	3	6	15	39	99	192	
女	763	14	4	5	26	93	209	412	

(2-1)簡易コース受診者数

区分	総数(人)	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	実施回数
総数	921	15	7	11	33	116	253	486	318
男	298	1	3	6	12	36	83	157	
女	623	14	4	5	21	80	170	329	

(2-2)特定簡易コース受診者数

区分	総数(人)	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	実施回数
総数	197	—	—	—	8	16	55	118	126
男	57	—	—	—	3	3	16	35	
女	140	—	—	—	5	13	39	83	

(2)体力測定コース

基礎的な形態測定、体力測定から得られた結果説明と運動プログラム作成および個別運動指導を行った。

施設	事業名	対象者	実施回数(回)	受診者数(人)
西	体力測定コース	一般市民	12	26

【年代別受診者内訳】

区分	総数(人)	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	実施回数
総数	26	7	8	2	3	5	1	—	12
男	5	1	2	1	—	1	—	—	
女	21	6	6	1	3	4	1	—	

2 利用促進事業

(1)利用促進対象者の情報提供(利用連絡票による紹介件数)

医療機関や関係機関との連携により、重視する対象者の診療情報などの情報提供を受け、健康づくりセンターにて安全で効果的な健康づくり活動が継続的に出来るよう支援を行った。

また、初回利用後、情報の提供を受けた機関に対し、健康づくりセンターから対象者の利用状況について報告した。

(件)

医療機関	各区 保健福祉部	地域包括 支援センター	介護予防 センター	障がい者 相談事業所	特定保健指導 実施機関
6	0	0	0	0	0

(2)対象者の意欲喚起

重視する対象者全員に健康度測定受診から6か月後に、中間測定(体重・腹囲・血圧)を行い、健康運動指導士等から測定結果に合わせて指導を実施した。

対象期間	合計(人)
令和5年度10月～令和6年度9月	466

3 運動指導事業

市民の自主的な健康づくり活動の実践の場として運動フロアを開放し、健康増進を図るため、健康運動指導士など有資格者による運動指導(個別・集団)、運動機器の利用指導、運動に関するアドバイスをを行った。

(1)運動フロアの自主利用の促進

市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康度測定・体力測定受診者への運動プログラムの作成、個別運動指導や一般利用者に対する運動器具の利用指導を行った。

ア 一般利用者

施設	事業名	実施回数	利用者数(人)	
西	自主利用	開館日数 307 日	有料者	68,581
			減額者	27,505
			免除者	5,511
	小 計		101,597	
東	自主利用	開館日数 307 日	有料者	22,422
			減額者	4,882
			免除者	643
	小 計		27,947	
合 計			129,544	

イ 重視する対象者の利用状況(令和6年度利用対象分)

重視する対象者人数(人)	延べ利用人数(人)	月平均利用回数(回)
1,744	64,985	3.1
*令和6年度登録者数 961 名		

重視する対象者への支援強化

- 運動記録ノートの活用
- 運動器疾患(膝痛・腰痛など)に対する理学療法士の介入

(2)自由参加プログラムの実施

エアロビクスやストレッチなどを集団指導する自由参加プログラムを開催、指導した。

施設	事業名	実施回数(回)	利用者数(人)
西	自由参加プログラム (11 回/週)	534	*21,221
	ウォーキング講習	中止(ウォーキングデッキでの事業展開のため)	—
東	自由参加プログラム (6 回/週)	307	*8,574
合 計			*29,795

*自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

(3)運動指導員の派遣(保健センターへの派遣)

各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、集団的運動の実践指導を行った。

区	実施回数(回)	延べ人数(人)	区	実施回数(回)	延べ人数(人)
中央	2	78	北	2	12
東	3	53	白石	3	72
厚別	2	61	豊平	0	0
清田	1	5	南	2	31
西	2	37	手稲	1	6
合 計(施設利用人数には含まず)				18	355

(4)個別運動指導

施設	事業名	実施回数(回)	利用者数(人)
西	個別運動指導	251	*495
東	(運動指導・運動プログラムの作成等)	54	*59
合 計			*554

*自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

4 利用勧奨事業

(1)長期未利用者に対する利用勧奨

健康度測定及び個別運動指導を受けた後、健康づくりセンターを2か月以上利用していない重視する対象者に対し、担当者から電話等において再度の来館を促した。

【居住区別長期未利用者】

(人)

	中央	西	東	北	白石	厚別	豊平	清田	南	手稲	市外	合計
重視する対象者数	217	473	78	76	18	8	17	4	20	44	6	961
長期未利用者数	24	76	16	13	2	1	2	0	4	11	3	152
	11.1%	16.1%	20.5%	17.1%	11.1%	12.5%	11.8%	---	20.0%	25.0%	50.0%	15.8%

5 女性のフレッシュ健診(西)

受診機会の少ない18歳から39歳までの女性を対象に、一般的な健康診断のほか骨粗しょう症検診も併せて実施した。

施設	事業名	実施回数(回)	受診者数(人)
西	女性のフレッシュ健診	48	585

※「女性のフレッシュ健診 3DAYS」

通常、火曜日に実施している健診を「女性の健康週間」に時期を合わせ3/14(金)～3/16(日)に実施。

西健康づくりセンターにおける女性のフレッシュ健診の実施体制

●受付時間を細分化し実施 ①受診者同士の対人距離確保のため ②西センター移転後の待機場所確保が困難のため	通常	変更後
	①8:30～9:00 ②9:00～9:30	①8:30～8:45 ②9:15～9:30 ③10:00～10:15

【年代別受診者内訳】

区分	総数(人)	18・19 歳	20～29 歳	30～39 歳	実施回数
総数	585	—	96	489	48

6 健康増進に関する情報の収集・提供

(1)普及啓発事業

ア 医療機関・保険者等への普及啓発

医療機関や各保険者に向けて、利用促進事業をはじめ、健康度測定の受診メリット、健康づくりセンターの役割と機能について直接説明を行うなど広報・普及啓発活動を行い、重視する対象者の各センターの利用促進を図った。

(a)リーフレット・広報資料郵送

郵送日	対象施設等	件数(件)
10/10	時計台病院心血管リハビリテーションチーム/北光記念病院地域連携室	2
12/25	西健康づくりセンター近隣かつ受診者の主治医(西区)のいる医療機関	29
3/26	特定保健指導実施機関(特定保健指導を実施した健康保険組合)	9
3/28	健康づくりセンター近隣かつ主治医のいる西区以外の医療機関	154
合 計		194

(b)訪問・来館・オンライン

実施日	対象施設等	方法	件数(件)
5/17	北海道脳神経外科(西区)	訪問	1
7/23	札幌第一病院地域連携室(西区)	訪問	1
8/23	静和記念病院地域医療連携センター(西区)	訪問	1
10/10	時計台病院心血管リハビリテーションチーム/介護予防センター北一条	訪問	2
11/13	時計台病院心血管リハビリテーションチーム	来館	1
12/9	溪仁会リハビリテーション病院リハビリテーション部	訪問	1
12/11	北海道大学病院パーソナルヘルスセンター	来館	1
1/4	手稲区第2包括支援センター	来館	1
1/22	山の手内科クリニック	来館	1
3/26	萬田記念病院 医療相談室	訪問	1
合 計			11

イ 重視する対象者への普及啓発

新規の重視する対象者を発掘しセンター利用に繋げるため、健康度測定の特長や健康づくりセンターの意義について直接説明する機会を設け、利用促進を図った。

実施日	実施施設等	参加人数(人)
6/18	北区食生活改善推進員協議会研修会(運動実践)	32
7/26	西区介護予防サポート養成講座(講話+運動実践)	20
9/13	NoMaps WELLNESS(札幌駅前通地下歩行空間)	72
9/14	NoMaps WELLNESS(札幌駅前通地下歩行空間)	176
9/15	NoMaps WELLNESS(札幌駅前通地下歩行空間)	128
9/18	シニアワーキングさっぽろ 2024(北ガスアリーナ)	152
9/19	シニアワーキングさっぽろ 2024(北ガスアリーナ)	151
9/20	西区老人クラブ連合会(運動実践)	18
9/27	シニアワーキングさっぽろ 2024(西区体育館・温水プール)	94
12/12	北区体育館(体成分測定会実施)	98
3/25	北区食生活改善推進員協議会研修会(運動実践)	33
合 計		11 回 974

ウ センター設置区外の住民に対する重点的な普及啓発

当協会が主催する「札幌マラソン」や「リレーマラソン」などの大型イベントにおいて PR ブース等を設置し、施設 PR・利用案内・事業説明などを広く周知、広報活動を実施することにより、健康度測定や運動フロアの利用促進を図った。

(2)ホームページの運営・図書等の整備

健康に関する文献等、市民への情報提供を行うとともに、センターの紹介やイベント案内などをホームページへ掲載、また健診予約などインターネットからの申込受付を行った。

(3)刊行物の発行

健康づくりセンターの利用促進及び実施事業・健診等の情報を発信するため、月別利用予定表を発行し、利用者等へ配布した。

(4)インスタグラム・LINE 等の SNS を利用して健康づくり情報などを配信した。

配信日	配信内容等	媒体
4/9	健康講座「ストレスを抱え込まない」開催案内	LINE
4/23	女性のフレッシュ健診案内	LINE
5/1	高血圧の日	LINE
5/7	西健康づくりセンター教室(こしの機能アップ 4 名)紹介	Instagram
5/16	東健康づくりセンター体験会(背骨すっきりコンディショニング)紹介	Instagram
5/17	健康講座「フレイル予防」開催案内	LINE
5/22	中央健康づくりセンター教室(中島体育センター実施)紹介	Instagram
6/12	健康づくりセンターフェスタ 2024 (健康づくりセンター合同事業)開催案内	LINE
6/27	健康情報「低栄養がもたらす様々な身体影響」	Instagram
7/10	健康づくりセンターフェスタ 2024(イベント報告)	Instagram
7/12	女性のフレッシュ健診案内	LINE
7/17	栄養の日	LINE
8/20	健康づくりセンター教室(ZUMBA)紹介	Instagram
8/21	健康講座(運動の効果をプラスしよう)紹介	LINE
9/10	健康情報「子どもの肥満」	Instagram
9/13	女性のフレッシュ健診案内	LINE
9/17	健康サポート教室(厚別体育館実施)紹介	Instagram
9/19	健康講座「正しい姿勢でウォーキング」開催案内	LINE
9/27	東健康づくりセンター教室(初めての筋活教室)	Instagram
10/16	西健康づくりセンターフェスタ 2024	LINE
10/16	西健康づくりセンターフェスタ 2024(イベント周知)	Instagram
10/30	健康情報「中高年の健康事情」	Instagram
11/20	健康講座「骨の健康」開催案内	LINE
11/21	西健康づくりセンターフェスタ 2024(イベント報告)	Instagram
11/27	東健康づくりセンター教室(健美操)紹介	Instagram
11/28	健康情報「転倒予防」	Instagram
12/10	健康づくりイベント「体成分測定 in 北区体育館」	LINE
12/10	西健康づくりセンター教室(ステップエクササイズ)紹介	Instagram
1/8	健康講座「肥満改善」開催案内	LINE
1/17	東健康づくりセンター教室(ZUMBA)紹介	Instagram
2/5	健康講座「認知症予防講座」開催案内	LINE
2/28	西健康づくりセンター教室(ピラティス)紹介	Instagram
3/5	健康講座「肩こり予防講座」開催案内	LINE
3/21	東健康づくりセンター教室(ひざの機能アップ)紹介	Instagram

7 その他センターの設置目的を達成するために実施する事業

(1)各種相談事業

市民の健康増進に資するため、センター利用者などに対して健康づくりや食生活に関する保健・栄養相談と指導を行った。

施設	事業名		対象者	実施回数(回)	相談数(人)
西	健康相談・栄養相談 (フォロー・電話相談含む)	保健指導	健康度測定者	241	1,100
			一般相談者	22	37
		栄養指導	健康度測定者	242	1,113
			一般相談者	36	75
	理学療法士による評価・相談	健康度測定者	235	1,104	
		一般相談者	16	30	
合 計					3,459

(2)地域における自主活動への支援等

地域の健康づくりを担う自主活動グループ・町内会等の自主活動が円滑に行えるよう、地域の人材育成を支援する講習会等を実施する計画。(対象となる支援団体の選定については札幌市と協議)
→令和 6 年度については団体の選定には至らなかったが、介護予防センター職員との連絡調整や介護予防サポート養成講座、地域組織(食生活改善推進員協議会等)の会合に出向いた際に、自主活動における健康づくり活動の簡単にできる取り組み例などの紹介を行った。

(3) 調査研究事業

令和5年度に新規で健康度測定を受診した者のうち、重視する対象(生活習慣病発症予防)に該当した者の利用状況や一年後(令和6年度)の再受診結果等を分析、検証した。

事業名
健康づくりセンターにおける生活習慣病発症予防対象者の運動施設利用等による効果の検証

(4) インターネットを活用した事業

センター設置区外の住民を含め、より広く継続的な健康づくり活動の実践の場を提供するため、健康運動指導士等による動画配信を行った。

配信日	配信内容等	媒体
2月	トレーニング 第一弾【冬の運動不足解消】	協会ホームページ
3月	エアロビクス 第一弾【かんたんエアロビクス】	

II 受託事業

1 健診関係

(1) 特定健康診査

各保険者が行う特定健康診査を実施した。また、特定健診受診時に健康度測定を受診できるよう「特定健診簡易コース」を設け、利用促進を図った。

(2) 大腸がん検診及び緊急肝炎ウイルス検査

受診希望者に対して、特定健康診査受診時等に実施した。

施設	事業名	実施日	健診数(人)
西	特定健康診査(単独)	健康度測定実施日	11
	大腸がん検診		6
	前立腺がん検診		0
	小 計		17
	大腸がん検診	健康度測定と同時受診	*71
	前立腺がん検診		*11
	緊急肝炎ウイルス検査		*157
	緊急肝炎ウイルス検査(単独)		*32
	小 計		*271
	合 計(*含む)		288

*健康度測定受診者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

2 事業関係

(1) 国保 特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)

対象者が自らの生活習慣における課題に気づき、健康的な行動変容の方向性を自らが導き出せるよう支援を行った。特に積極的支援においては運動実践を取り入れたプログラムを提供し、運動習慣の定着と健康的な生活習慣の確立を目指した支援を行った。

※申込受付、初回面談・終回評価等の保健・栄養指導については西健康づくりセンターにて実施。積極的支援の運動指導のみ2施設(西・東健康づくりセンター)で実施可。参加数は西センターへ計上。

施設	事業名	参加数(人)	延べ人数(人)
西	積極的支援	4	22
	動機づけ支援	19	35
東	積極的支援(運動指導のみ)	0	0
合 計		23	57
保健・栄養・運動指導(西)			*97

*西センター来館一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

Ⅲ 自主事業

1 健康づくり活動の支援事業

(1) 健診事業

健康増進事業(指定管理業務)等を補完・付加するための検査を実施。

ア) オプション検査など (西)

施設	事業名	実施回数	健診数(人)
中央	フォローアップ健診	4	4
	採用時健診(資格証明)	0	0
	小 計		4
	簡易セット・追加検査(血液)等	希望者・対象者 随時	*154
	診断書作成		*6
	頸動脈エコー検査(健康度受診の希望者)		*170
	骨密度検査(健康度受診の希望者)		*85
	BNP検査(健康度受診の希望者)		*44
	足腰元気度チェック(健康度受診の希望者)		*27
	HbA1c(女性のフレッシュ健診受診の希望者)		*113
	血液型検査(ABO 式・RH 式)		*6
	胃がんリスク検査(ABC 検診)		*48
	PSA 検査(前立腺がん検診)		*8
	安静時心電図検査		*51
	小 計		*712
	合 計		716

*健康度測定受診者に含まれるため施設利用者数に反映しない

イ) 健康チェック(西)

施設	事業名	参加数(人)
中央	動脈硬化度チェック	1
	体成分チェック	169
	超音波骨密度チェック&アドバイス	9
	理学療法士による姿勢チェック	13
合 計		192

(2) 運動指導教室

施設	事業名	実施数	期	参加数(人)	延べ人数(人)
西	運動教室	86 教室/年	成人 4 期、こども 2 期	2,802	26,006
			体験受講	147	147
東		26 教室/年	成人 4 期、こども 2 期	455	4,539
			体験受講	32	32
合 計-112 教室				3,436	30,724

(3) 健康サポート教室

市民を対象に健康・体力づくりや運動能力の向上などを目的とした教室や講習会を実施した。
また、健康づくり活動に対しての動機付けとなる体験会などを実施した。

ア) 運動器疾患別予防運動教室(東・西)

施設	事業名	期	参加数(人)	延べ人数(人)
西	ひざの機能アップ教室	4	133	1,061
	こしの機能アップ教室	4	87	855
	サルコペニア予防教室	4	62	572
	ひざの機能アップ 4 名教室	水曜	14	139
		土曜	12	116
	こしの機能アップ 4 名教室	4	14	126
	股関節の機能アップ 4 名教室	4	16	146
	小 計		338	3,015
東	ひざの機能アップ教室	4	54	527
	こしの機能アップ教室	4	32	319
	股関節の機能アップ教室	4	22	203
	小 計		108	1,049
合 計			446	4,064

イ)高齢者～介護予防事業の推進(東・西)

施設	事業名		期	参加数(人)	延べ人数(人)
西	高齢者のための体力づくり教室		4	67	584
	高齢者のための筋トレ教室	木 AM①	4	32	293
		木 AM②	4	28	276
		木 PM①	4	30	253
		木 PM②	4	31	285
	高齢者のための筋トレ 8 名教室	火 AM①	4	27	265
		火 AM②	4	21	197
		火 PM①	4	31	275
		火 PM②	4	27	246
		水 AM①	4	32	322
		水 AM②	4	31	295
		金 AM①	4	19	165
		金 AM②	4	17	145
		金 PM①	4	25	223
		金 PM②	4	22	210
		土 AM①	4	22	213
		土 AM②	4	22	218
	小 計			484	4,465
東	高齢者のための体力づくり教室	水曜	4	45	452
		金曜	4	85	784
	小 計			130	1,236
合 計			614	5,701	

ウ)運動習慣化教室(東・西)

〃運動習慣化教室（東・西）					
施設	事業名		期	参加数(人)	延べ人数(人)
西	初めての筋活教室		4	88	801
	生活習慣改善運動教室		4	58	503
	小 計			146	1,304
東	初めての筋活教室		4	33	292
合 計				179	1,596

エ)健康サポート教室体験受講(東・西)

施設	事業名	参加数(人)	延べ人数(人)
西	健康サポート教室体験受講	7	7
東		18	18
合 計		25	25

(4)専門職による健康講座

ア)健康講座(講話+運動実技)

施設	事業名		参加数(人)
西	健康講座	フレイル予防 ～たんぱく質の摂り方を学ぼう～	6
		腰痛予防講座 ～腰の痛みを予防するために～	17
		運動の効果をプラスしよう！～延ばそう健康寿命～ 〈1 回目〉	8
		運動の効果をプラスしよう！～延ばそう健康寿命～ 〈2 回目〉	8
		認知症予防講座	16
		肩こり予防 ～肩こりが肩イタになる前に～	11
		小 計	66
東		ストレスを抱え込まない ～ストレスとの付き合い方～	10
		膝痛予防講座 ～膝の痛みが悪化するその前に～	15
		災害に備えてできることを学ぶ ～家庭でできる食の備え～	5
	正しい姿勢でウォーキング ～姿勢の基本から見直そう～	29	
	骨の健康 ～骨粗しょう症を知って予防～	21	
	肥満改善～脱メタボ～	14	
	小 計	94	
合 計		160	

イ)無料健康講座(社会イベントに合わせて実施)

施設	事業名		参加数(人)
西	健康講話	高血圧の日(5/17) ※5/16 実施	16
		理学療法の日(7/17) ※7/5 実施	15
	イベント	栄養の日(8/4) ※8/2 実施	*119
	健康講話	世界糖尿病デー(11/14) ※11/14 に実施	13
合 計			44

*来館者に栄養簡単チェックとサンプル配布等のイベント実施のため施設利用者数に反映しない

(5)運動サポート事業(東・西)

施設	事業名		参加数(人)
西	運動効果測定	脚筋力測定	5
		体脂肪測定	12
	健康体力測定 ※西センターにて健康増進事業実施のため休止	安心コース	---
		もっと安心コース	---
東	運動効果測定	脚筋力測定	5
		体脂肪測定	15
合 計			37

(6)特定保健指導(西) ※札幌市国民健康保険加入者除く

施設	事業名		参加数(人)	延べ人数(人)
西	積極的支援	運動施設	4	14
		在宅実践	1	3
	動機づけ支援	運動施設	0	0
		在宅実践	9	13
合 計			14	30
保健・栄養・運動指導				*58

*西センターに来館同一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

(7)禁煙支援プログラム(西)

施設	事業名	参加数(人)	延べ人数(人)
西	禁煙支援プログラム	0	0
	喫煙者呼気中一酸化炭素濃度チェック	0	0
合 計		0	0

(8)健康・栄養相談(西)

施設	事業名	参加数(人)
西	栄養バランス相談	0
	Eメール相談 健康相談窓口	1
合 計		1

2 派遣事業(西)

保健センターや事業所、学校などへ専門スタッフを派遣し実践指導を実施した。

運動指導員・理学療法士・保健師・看護師派遣

(人)

月日	依頼先	人数
6/18	北区食生活改善推進員協議会	32
7/26	西区介護予防センター八軒	20
8/25	中央区地域振興課(Cスポーツパーティー)	25
9/18	シニアワーキングさっぽろ 2024(北ガスアリーナ)	152
9/19	シニアワーキングさっぽろ 2024(北ガスアリーナ)	151
9/20	西区老人クラブ連合会	18
9/26	豊水まちづくりセンター	21
9/27	シニアワーキングさっぽろ 2024(西区体育館)	94
3/25	北区食生活改善推進員協議会	33
合 計		9 件 546

3 地域コミュニティ支援事業

地域住民を対象に、周年記念イベントや特別開館などを実施した。

(1) イベント事業(無料開放など)

月日	事業名	施設	参加数(人)
5/12	母の日無料開放(18歳以上の女性のみ)	東	54
		西	124
6/16	父の日無料開放(18歳以上の男性のみ)	東	31
		西	138
6/23	健康づくりセンターフェスタ 2024 ※東健康づくりセンターにて実施	合同	208
10/27	西健康づくりフェスタ 2024	西	128
合 計			683

4 研修事業

運動指導従事者を対象に、指導現場において運動プログラムを効果的に実践するために必要とされる実用的な知識と技能を向上させることを目的に開催した。

月日	事業名	参加数(人)
7/21	運動指導従事者研修① 運動行動変容の理論と実際 ～指導者として小手先に頼らないやる気を引き出す動機づけの理解～	23
1/19	運動指導従事者研修② 医療現場から運動施設へ ～病院リハ終了者に対する運動施設での対応ポイント～	22

5 その他

(1) 中島体育センターにおける健康サポート教室(中央センター休館期間)

施設	事業名	期	参加数(人)	延べ人数(人)
中島 体育 センター	膝げんき体操教室	火	4	68
		木	4	75
		金	4	52
	高齢者のための筋トレ教室	火 AM	4	56
		火 PM	4	38
		水	4	49
		土 AM	4	24
		土 PM	4	40
	ひざ腰すこやか体操教室	火	4	72
		水	4	47
		金①	4	73
		金②	4	72
	腰痛予防運動教室	木	4	39
		金	4	58
	股関節痛予防運動教室	土 AM	4	70
		土 PM	4	31
	【メディカルフィットネス】 リハビリ専門家の体力回復教室	水①	4	26
		水②	4	34
		金①	4	39
		金②	4	62
	高齢者のための体力づくり教室	木	4	58
	高齢者のためのフレイル予防運動教室	木	4	25
	健康サポート教室体験受講		15	15
合 計			1,123	10,208

(2) さっぽろウェルネス★スタートプログラム(主催:札幌市)

札幌市が主催する「スタートプログラム」として、市民が健康行動を継続するきっかけづくりとなるよう「栄養」「ストレス解消」「運動実践」などを組み合わせた内容のプログラムで健康・運動の習慣化を目的に実施した。

施設	事業名		参加数(人)	延べ人数(人)
中島 体育 センター	毎日をもっとアクティブに！運動習慣化サポート プログラム～自分のカラダを知ろう～	全5回コース	9	40
		全2回コース	6	12
	合 計		15	52

(3) 体育施設との連携事業

各区体育館を利用する高齢者やスポーツ競技者等を対象に、体育施設における新たな需要の掘り起こしと、教室受講から健康度測定受診へと繋げることを目的に、健康サポート教室を実施した。※令和6年10月から実施

施設	事業名		期	参加数(人)	延べ人数(人)
厚別区 体育館	ひざの運動教室	火①	2	10	77
		火②	2	13	117
	健康サポート教室体験受講			8	8
合 計				31	202

(4) イベント協力事業

各地域における健康・スポーツ関係団体の開催するイベントにて各種相談・指導等を計画

月日	イベント名	内容
7/15	北ガスグループ リレーマラソンin札幌ドーム 2024	準備体操・エアロビクス等
7/15	八軒ふれあいまつり	血圧、身長、握力測定

(5) 施設間共同事業

事業名	内容
Do スポ！シニア健康塾	シニア世代を対象に軽スポーツ・フィットネス・文化教室など様々なプログラムを行う事業。希望者に健康づくりセンターの運動指導士が中島体育センターのトレーニング室にてマシン講習と膝痛＆腰痛予防の運動を実施。

(6) ウェルネスイベントにおける普及啓発および健康づくりセンターPR

「健康寿命延伸」に関わる商品・サービスを集め、様々なコンテンツを集約した複合イベント「NoMaps WELLNESS」にブース出展し、体成分測定のほか、施設 PR、利用案内、事業説明などを、会場である札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)にて広く周知した。また、イベント内ステージセッションにおいてもスライドを用いた施設 PR を行った。 ※札幌商工会議所枠にて出展

月日	イベント名	内容	延べ人数(人)
9/13-15	NoMaps WELLNESS	普及啓発活動、体成分測定等	376

(7) スポーツ医科学の知見を通じた市民の健康増進に関するイベント

市民の健康寿命延伸に向けて、スポーツで得られた医・科学的知見の活用により、市民の健康増進を図ることを目的に、「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」との連携により実施するモデル事業を札幌市より委託を受け、西健康づくりセンターにて実施した。

月日	イベント名	内容	延べ人数(人)
3/9	「身体診断」セルフチェック体験・相談会	セルフチェック体験、相談会	62

(8) 社会貢献

事業名	内容
ミーナの募金	盲導犬育成支援募金「ミーナの募金箱」を設置
さっぽろ救急サポーター事業	「さっぽろ救急サポーター」に参画し、速やかな応急手当による救命率の向上に協力
札幌市地域安全サポーターズ	「こども 110 番の店」への登録し、子ども達が安全にかつ安心して登下校が出来るよう協力

(9)インターンシップ・実習等

施設	事業内容	延べ人数(人)
西	6/4～6/6 札幌市立大学 1 年生初期実習	15
	7/26 北翔大学 4 年生	7
	11/26-27、12/10-11 北海道医薬専門学校看護学科 2 年生(健康支援学習・ヘルスプロモーション実習)	22
	合 計	44

(10)施設見学

施設	事業内容	延べ人数(人)
西	施設見学	102
東		311
	合 計	413

(11)その他

ア 上靴専用ロッカー貸出事業(西・東)

施設	事業名	内容	設置台数(台)
西	有料上靴専用貸ロッカー	貸出期間:1 か月単位	24 人用×4
東			※中央休館のため、中央より 1 台移設 24 人用×1

イ 自動販売機(西・東)

施設	事業名	内容	設置台数(台)
西	自動販売機	飲料・栄養補助食品	2
東			2

ウ 利用者への利便性並びにサービス向上を目的とした物品販売

品 目
スポーツタオル、スポーツソックス、ゴムニクボール、セラバンド、シェイプリング
ストレッチ DVD

IV 総利用者数(まとめ)

(人)

区 分			中央	西	東	合 計	
総 計			--	138,891	35,527	174,418	
一般利用者			--	101,597	27,947	129,544	
うち自由参加プログラム参加者（再掲）			--	*21,221	*8,574	*29,795	
運動教室			--	26,006	4,539	30,545	
運動教室体験受講			--	147	32	179	
その他			--	11,141	3,009	14,150	
内 訳	指 定	健康度測定	--	1,154	--	1,154	
		体力測定	--	26	--	26	
		女性のフレッシュ健診	--	585	--	585	
	受 託	単独特定健康診査	--	11	--	11	
		単独大腸がん検診	--	6	--	6	
		単独前立腺がん検診	--	0	--	0	
		国保 特定保健指導	--	57	0	57	
	自 主	健 診	フォローアップ健診	--	4	--	4
			採用時健診(資格証明)	--	0	--	0
		健康 チェッ ク	動脈硬化度チェック	--	1	--	1
			体成分チェック	--	169	--	169
			超音波骨密度チェック&アドバイス	--	9	--	9
			理学療法士による姿勢チェック	--	13	--	13
		運動 サポート	脚筋力測定	--	5	5	10
			体脂肪測定(InBody)	--	12	15	27
			ひざの機能アップ教室	--	1,061	527	1,588
			こしの機能アップ教室	--	855	319	1,174
			股関節の機能アップ教室	--	--	203	203
			サルコペニア予防教室	--	572	--	572
			ひざの機能アップ 4 名教室	--	255	--	255
			こしの機能アップ 4 名教室	--	126	--	126
			股関節の機能アップ 4 名教室	--	146	--	146
			高齢者のための体力づくり教室	--	584	1,236	1,820
			高齢者のための筋トレ教室	--	1,107	--	1,107
			高齢者のための筋トレ 8 名教室	--	2,774	--	2,774
			初めての筋活教室	--	801	292	1,093
			生活習慣改善運動教室	--	503	--	503
			健康サポート教室体験受講	--	18	7	25
		支 援	特定保健指導	--	30	--	30
			栄養バランス相談	--	0	--	0
			禁煙支援プログラム	--	0	--	0
			呼気中一酸化炭素濃度チェック	--	0	--	0
			E メール健康相談	--	1	--	1
		講座	健康講座(講話)	--	44	--	44
			健康講座(講話+実技)	--	66	94	160
	その他	協力	インターンシップ・実習	--	44	--	44
		見学	施設見学	--	102	311	413

その他(センター施設利用者数に反映されていない健診・指導等)

(人)

区 分				中央	西	東	合 計
その他	指 定 管 理	保健相談	測定者・一般相談	--	1,137	--	1,137
		栄養相談	測定者・一般相談	--	1,188	--	1,188
		理学療法	測定者・一般相談	--	1,134	--	1,134
		運動指導	個別運動指導	--	495	59	554
	受 託	大腸がん検診		--	71	--	71
		前立腺がん検診		--	11	--	11
		緊急肝炎ウイルス検査(同時)		--	157	--	157
		緊急肝炎ウイルス検査(単独)		--	32	--	32
		特定保健指導	保健・栄養・運動	--	97	--	97

	自主	簡易セット・追加検査(血液)等	--	154	--	154
		診断書作成	--	6	--	6
		頸動脈エコー検査	--	170	--	170
		骨密度測定	--	85	--	85
		BNP 検査	--	44	--	44
		足腰元気度チェック	--	27	--	27
		HbA1c	--	113	--	113
		血液型検査(ABO 式・RH 式)	--	6	--	6
		胃がんリスク検査(ABC 検診)	--	48	--	48
		PSA 検査(前立腺がん検診)	--	8	--	8
		安静時心電図検査	--	51	--	51
		特定保指導	保健・栄養・運動	--	58	58
		合 計				5,151

施設外指導など (人)

指定	運動指導員派遣	派遣事業	区 分	中央	西	東	合 計
			各区保健センター	--	355	--	355
その他 (施設外分)	自主	教室	運動指導員	--	513	--	513
			膝げんき体操教室(中島)	1,835	--	--	1,835
			高齢者のための筋トレ教室(中島)	1,986	--	--	1,986
			ひざ腰すこやか体操教室(中島)	2,465	--	--	2,465
			腰痛予防運動教室(中島)	886	--	--	886
			股関節痛予防運動教室(中島)	954	--	--	954
			リハビリ専門家の体力回復教室(中島)	1,305	--	--	1,305
			高齢者のための体力づくり教室(中島)	539	--	--	539
			高齢者のためのフレイル予防教室(中島)	223	--	--	223
			ひざの運動教室(厚別区体育館)	194	--	--	194
			健康サポート教室体験受講	23	--	--	23
			合 計				11,278

V 施設の使用承認等

1 利用料金の徴収

各健康づくりセンターにおける利用料金の額及び収受状況については、次のとおり。

施設	区 分		利用料 (円)	利用件数 (件)	収受合計(円)
西	健康度測定	一般コース(さぼーと利用券 1 件 含む) ※当協会負担分 1 件につき 500 円	8,000	36	288,000
		簡易コース(さぼーと利用券 24 件 含む) ※当協会負担分 1 件につき 500 円	3,000	921	2,763,000
		特定簡易コース	3,000	197	591,000
		体力測定コース	2,500	26	65,000
	女性のフレッシュ健診		2,000	585	1,170,000
	小 計				4,877,000
	運動指導室 運動スタジオ ウォーキングデッキ	減額利用者(1 回)	200	26,844	5,368,800
		1 回券	390	9,337	3,641,430
		回数券(6 枚綴) ※うち共済券利用 1,280 枚	1,950	11,580	22,581,000
	小 計				31,591,230
東	運動指導室	減額利用者(1 回)	100	4,747	474,700
		1 回券	200	1,986	397,200
		回数券(6 枚綴) ※うち共済券利用 350 枚	1,000	4,012	4,012,000
		小 計			
	合 計				41,352,130

2 利用料金の減額及び免除

札幌市健康づくりセンター使用料減免取扱要領(平成 5 年 8 月 31 日衛生局長決裁)に定められた事項に基づき、使用承認を行った。

区 分	施設	内容	免除・減免数(人)
第 3 条第 2 項(抜粋) 健康度測定一般コース又は健康度測定簡易コースを受けた者で前条各号(重視する対象者)のいずれかに該当するものは、検査の日から 1 年間、所定の使用料から減額する。ただし、健康度測定コースを初めて受けたものは、検査の日から 6 ヶ月間については使用料を免除する。 ※中央・西センターは 190 円、東センターは 100 円を減額	西	免除	5,511
		減額	27,508
	東	免除	643
		減額	4,882
合 計			38,544

3 収支報告

収支決算書 別紙のとおり

- ・様式1 総括表
- ・様式2 収入
- ・様式3 支出
- ・様式4 人件費
- ・様式5 物件費

VI 利用促進に係る業務

1 供用期間・時間の拡大

(1)開館時間の延長

施設	内 容
西	火～土曜日の開館時間を8時 30 分に変更(健診)
	火～日の利用開始時間9時 30 分を9時に変更(運動フロア)
東	火～日の利用開始時間9時 30 分を9時に変更(運動フロア)

(2)開館日増設

施設	内 容
西	健診休業日(日曜)
	健康度測定を実施(3/16) 女性のフレッシュ健診を実施(3/16)

2 広報業務

広報さっぽろ、新聞、テレビ等による広報

月	内 容
12 月	NHK テレビ *「ほっとニュース北海道」冬の運動不足解消につながる運動プログラムの紹介
5 月	三角山放送局「八軒まちづくり情報交流センターだより」出演
9 月	
1 月	

VII 統括管理業務

1 札幌市及び関係機関との連絡調整

(1)札幌市健康づくりセンター運営協議会

協議会において業務管理の状況の報告、管理運営上の問題点や改善に関する事項や管理水準の維持向上に向けた協議を行った。

	第1回	第2回	第3回	第4回
月日	6/19	8/7	11/13	3/5

(2)西センターにおける関係機関との連絡調整

月日	内 容
5/23	八軒まちづくり協議会全体会
7/15	八軒ふれあいまつり
8/26、2/17	八軒まちづくりセンター・八軒会館と合同で自衛消防訓練を実施
1/11	八軒連合町内会新年交礼会
不定期	西区定例会議に職員出席

2 職員研修

日常の指導業務等に役立てるため、健康づくりに関する知識及び技術の習得を目的に定期的に職員研修を開催し、全体のスキルアップを図った。

研修名	月日	テーマ	参加数(人)
専門職研修	7/8	【医療】健診業務について～それぞれの職種・役割の業務内容を理解し共有する	9
	7/8	【運動】個別運動指導に関する研修	11
	7/8	【運動】体力測定に関する研修	11
	7/8	【運動】運動指導員派遣事業に関する研修	11
	7/21	運動指導従事者研修	5
	8/26	【運動】機能解剖に関する研修	9
	11/18	【医療】医療者としての「会話(面接)」の技法等について	11
	12/9	【運動】自由参加プログラムに関する研修	10
	1/19	運動指導従事者研修	6
	2/17	【運動】生活習慣病に関する研修	11
	2/19	【医療】第6回地域保健関係職員「特定保健指導に関する研修」(札幌市)	2
認定研修	12/3	不当要求防止責任者講習(西)	1
職員研修	4/8	新規採用職員研修	9
	6/21	ホームページ担当者研修	4
	6/21	現金取り扱い研修	3
	7/8	接遇・接客研修	33
	7/8	事故対応シミュレーション	33
	7/30	コミュニケーション研修	2
	8/23	チームワーク研修(中央)	1
	11/11	コミュニケーション研修 *職務限定職員対象	12
	11/29	リスクマネジメント研修	2
	2/18、21	障害についての研修	9

※防災関連については「5 防災業務」に記載

3 アンケート調査の実施

利用者の意見、要望、満足度を把握し、業務の改善に反映させるため、「札幌市公共スポーツ施設満足度調査」を実施した。

(1)調査件数

中央	西	東	合計
0 件	372 件	262 件	634 件

(2)調査結果

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 利用時間帯(開館～閉館)の設定	260 41.0%	256 40.4%	97 15.3%	13 2.1%	3 0.5%	5 0.8%
2 設備・サービスに見合った利用料金	299 47.2%	221 34.9%	94 14.8%	15 2.4%	1 0.2%	4 0.6%
3 施設内の利用案内のわかりやすさ	210 33.1%	253 39.9%	155 24.4%	3 0.5%	1 0.2%	12 1.9%
4 ホームページのわかりやすさ、見やすさ	117 18.5%	206 32.5%	229 36.1%	12 1.9%	1 0.2%	69 10.9%
5 運動器具・用具の種類の豊富さ	91 14.4%	224 35.3%	233 36.8%	61 9.6%	6 0.9%	19 3.0%
6 運動器具・用具の数の豊富さ	85 13.4%	211 33.3%	239 37.7%	69 10.9%	6 0.9%	24 3.8%
7 運動器具・用具の手入れの行き届き具合	149 23.5%	241 38.0%	198 31.2%	25 3.9%	4 0.6%	17 2.7%
8 運動施設の照明の明るさ	203 32.0%	261 41.2%	159 25.1%	5 0.8%	0 0.0%	6 0.9%
9 運動施設の室温の快適さ	184 29.0%	238 37.5%	170 26.8%	31 4.9%	0 0.0%	11 1.7%
10 施設の全般的な清潔さ(トイレ・シャワー・更衣室等)	125 19.7%	223 35.2%	211 33.3%	44 6.9%	16 2.5%	15 2.4%
11 トイレ設備の快適さ(洋式、洗浄便座等)	128 20.2%	224 35.3%	212 33.4%	46 7.3%	11 1.7%	13 2.1%
スタッフサービス満足度	大変よい	まあ良い	普通	あまり良くない	悪い	回答なし
1 施設スタッフの対応の迅速さ	357 56.3%	222 35.0%	53 8.4%	1 0.2%	1 0.2%	0 0.0%
2 施設スタッフの対応の親切さ	374 59.0%	208 32.8%	48 7.6%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.3%
3 施設スタッフのスポーツに関する専門知識	273 43.1%	246 38.8%	100 15.8%	1 0.2%	1 0.2%	13 2.1%
総合的満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 本施設に対する総合的な満足度について	196 30.9%	358 56.5%	70 11.0%	6 0.9%	0 0.0%	4 0.6%

(3)要求水準に対する結果

項目	満足度	件数	計算方法	要求水準
接遇満足度	99.6%	1,680 件 1,686 件	【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』 ----- 【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』+『あまり良くない』+『悪い』	80.0%
総合満足度	98.9%	554 件 560 件	【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』 ----- 【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』+『少し不満』+『不満』	80.0%

4 施設・設備等の維持管理

(1)修繕

(税込)

施設	月日	内 容	金額(円)
中央	3/28	運動負荷送信機メイン基板修繕	139,040
		小 計	139,040
西	5/13	男性・女性シャワー室排水管洗浄	77,000
	8/27	トレッドミル 2 台・筋トレ機器 2 台修繕	81,950
	11/26	トレッドミル 3 台・コンビバイク 1 台修繕	84,700
		小 計	243,650
東	5/30	トレッドミル 1 台・筋トレ機器 1 台修繕	16,500
	6/18	筋トレ機器 1 台修繕	22,000
	10/29	筋トレ機器 1 台修繕	11,000
	1/29	事務所照明器具安定器修繕	25,080
		小 計	74,580
		合 計	457,270

(2)備品更新

(税込)

施設	月日	内 容	金額(円)
中央	11/22	尿分析装置	647,020
中央・西・東	3/18	AED(3台)	1,171,500
合 計			1,818,520

(3)機器点検

施設	月日	内 容
中央	5/14	尿分析装置機器点検
	2/7	健診用 検査・測定機器(運動負荷心電図検査装置など)
西	7/8	運動フロア等 トレーニング機器
東	7/29	運動フロア トレーニング機器

5 防災業務

月日	内 容
8/26	自衛消防訓練① 八軒まちづくりセンターと合同実施(中央・西・東)
11/18	普通応急手当講習(中央) ※西健康づくりセンターにて実施
11/25	普通応急手当講習(西・東)
2/17	自衛消防訓練② 八軒まちづくりセンターと合同実施(中央・西・東)

添付資料

I 団体の運営状況を表す事業報告

・事業報告書

II 団体の経営状況を表す財務諸表

・収支決算書

様式1 令和6年度 健康づくりグループ収支決算書(総括表)

単位:円
税込

1 収入

項目		予算額	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	103,406,000	105,816,000	
	利用料金収入	30,623,000	41,352,130	
	雑収入	-	-	
	その他収入	-	-	
	指定管理収入小計 (A)	134,029,000	147,168,130	
自主事業収入 (B)		48,438,000	50,179,487	
受託事業収入 (C)		3,499,000	3,778,380	
収入計 (A)+(B)+(C)		185,966,000	201,125,997	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	3,427,000	2,926,163	
		物件費	658,000	481,450	
		小計	4,085,000	3,407,613	
	事業費	人件費	124,347,000	112,216,255	
		物件費	41,359,000	31,245,432	
		小計	165,706,000	143,461,687	
	指定管理支出小計 (D)		169,791,000	146,869,300	
自主事業	管理費	人件費	909,000	847,533	
		物件費	172,000	139,449	
		小計	1,081,000	986,982	
	事業費	人件費	27,506,000	29,223,787	
		物件費	20,810,000	14,054,820	
		小計	48,316,000	43,278,607	
	自主事業支出小計 (E)		49,397,000	44,265,589	
受託事業	管理費	人件費	154,000	227,909	
		物件費	37,000	37,498	
		小計	191,000	265,407	
	事業費	人件費	5,382,000	3,918,008	
		物件費	1,174,000	1,137,452	
		小計	6,556,000	5,055,460	
	受託事業支出小計 (F)		6,747,000	5,320,867	
支出計 (D)+(E)+(F)			225,935,000	196,455,756	

3 収支

項目	予算額	決算額	備考
指定管理業務収支差 (A)-(D)	-35,762,000	298,830	
自主事業収支差 (B)-(E)	-959,000	5,913,898	
受託事業収支差 (C)-(F)	-3,248,000	-1,542,487	
施設収支合計	-39,969,000	4,670,241	

自主事業等による利益還元	-		
法人税等 (法人税、住民税及び事業税)	24,000	23,000	法人税

注)

1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)

2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。

3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。

4 収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和6年度 健康づくりグループ収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:円
「税込」

施設名	料金区分	決算額	備考
中央健康づくりセンター	個人利用	4,877,000	
	専用利用		専用利用なし
	計	4,877,000	
西健康づくりセンター	個人利用	31,591,230	
	専用利用		専用利用なし
	計	31,591,230	
東健康づくりセンター	個人利用	4,883,900	
	専用利用		専用利用なし
	計	4,883,900	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
	計	-	
総計		41,352,130	

注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位:円
「税込」

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	105,816,000	
	雑収入	-	
	その他収入	-	
	指定管理業務事業収入計	105,816,000	
自主事業	健康・スポーツ情報提供事業	-	
	健康・体力づくり相談事業	48,821,664	
	物品販売等事業	1,357,823	
	自主事業収入計	50,179,487	
受託事業	健康・スポーツ行事受託事業	3,778,380	
		-	
		-	
	受託事業収入計	3,778,380	
事業収入計		159,773,867	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
3 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3 令和6年度 健康づくりグループ収支決算書(支出)

単位:円

「税込」

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	2,502,416	80,184,128	724,799	20,872,087	194,905	2,694,199
	臨時雇賃金	-	17,333,066	-	4,492,915	-	727,182
	法定福利費	393,602	12,619,211	114,003	3,310,377	30,656	430,533
	福利厚生費	30,145	2,079,850	8,731	548,408	2,348	66,094
	人件費計	2,926,163	112,216,255	847,533	29,223,787	227,909	3,918,008
物件費	仕入高	-	-	-	35,321	-	-
	報酬	30,603	231,493	8,864	4,998,211	2,383	-
	教育研修費	-	146,936	-	-	-	-
	報償費	-	2,118	-	52,704	-	-
	会議費	1,648	164	478	-	128	-
	交際費	59,822	11,297	17,327	-	4,659	-
	旅費交通費	9,416	393,802	2,727	7,953	733	-
	通信運搬費	3,923	938,994	1,136	99,307	306	28,186
	減価償却費	-	633,499	-	223,158	-	-
	消耗什器備品費	-	357,148	-	-	-	-
	消耗品費	17,466	3,646,046	5,059	720,416	1,360	108,900
	修繕費	1,001	509,534	290	3,646	78	-
	工事請負費	-	-	-	-	-	-
	印刷製本費	8,404	326,729	2,434	39,600	654	-
	燃料費	-	15,564	-	1,724	-	-
	光熱水費	-	-	-	-	-	-
	賃借料	5,810	291,659	1,682	168,253	452	-
	保険料	7,974	122,628	2,310	189,298	621	-
	諸謝金	222,451	172,744	64,431	87,877	17,326	-
	広告宣伝費	60,408	229,682	17,497	-	4,705	-
	租税公課	12,680	248,549	3,673	60,005	988	7,963
	負担金	21,195	99,000	6,139	-	1,652	-
	支払寄付金	-	1,818,520	-	-	-	-
	委託費	16,131	9,718,511	4,672	2,625,540	1,256	730,379
	支払給付金	-	-	-	-	-	-
	支払利息	-	4,833	-	-	-	-
	支払手数料	1,297	58,833	376	555,148	101	-
	雑費	1,221	31,414	354	35,340	96	-
	その他(消費税納付)	-	11,235,735	-	4,151,319	-	262,024
	物件費計	481,450	31,245,432	139,449	14,054,820	37,498	1,137,452
支出計		3,407,613	143,461,687	986,982	43,278,607	265,407	5,055,460

注)

1 行が足りない場合は、適宜追加してください。

2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)

3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。

・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。

・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。

4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。

5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和6年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:円
「税込」

1 指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	-	
報酬	30,603	231,493	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～本部経費按分(3.93%)
教育研修費	-	146,936	・事業費～本部経費按分(3.93%)
報償費	-	2,118	・事業費～施設経費
会議費	1,648	164	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～本部経費按分(3.93%)
交際費	59,822	11,297	・管理費～本部経費按分(3.93%)
旅費交通費	9,416	393,802	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
通信運搬費	3,923	938,994	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
減価償却費	-	633,499	・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
消耗什器備品費	-	357,148	・事業費～本部経費按分(3.93%)
消耗品費	17,466	3,646,046	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
修繕費	1,001	509,534	・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
工事請負費	-	-	
印刷製本費	8,404	326,729	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
燃料費	-	15,564	・事業費～本部経費按分(3.93%)
光熱水費	-	-	
賃借料	5,810	291,659	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
保険料	7,974	122,628	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
諸謝金	222,451	172,744	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～本部経費按分(3.93%)
広告宣伝費	60,408	229,682	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)

租税公課	12,680	248,549	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
負担金	21,195	99,000	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費
支払寄付金	-	1,818,520	・事業費～施設経費
委託費	16,131	9,718,511	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
支払給付金	-	-	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
支払利息	-	4,833	・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
支払手数料	1,297	58,833	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
雑費	1,221	31,414	・管理費～本部経費按分(3.93%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(3.93%)
その他	-	11,235,735	消費税納付分
計	481,450	31,245,432	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

単位:円
「税込」

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	35,321	・事業費～施設経費
報酬	8,864	4,998,211	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費
教育研修費	-	-	
報償費	-	52,704	・事業費～施設経費
会議費	478	-	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費
交際費	17,327	-	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費
旅費交通費	2,727	7,953	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
通信運搬費	1,136	99,307	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
減価償却費	-	223,158	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～本部経費按分(7.99%)
消耗什器備品費	-	-	
消耗品費	5,059	720,416	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
修繕費	290	3,646	
工事請負費	-	-	
印刷製本費	2,434	39,600	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
燃料費	-	1,724	・事業費～本部経費按分(7.99%)
光熱水費	-	-	
賃借料	1,682	168,253	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
保険料	2,310	189,298	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
諸謝金	64,431	87,877	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
広告宣伝費	17,497	-	・管理費～本部経費按分(7.99%)

租税公課	3,673	60,005	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
負担金	6,139	－	・管理費～本部経費按分(7.99%)
支払寄付金	－	－	
委託費	4,672	2,625,540	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
支払手数料	376	555,148	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(7.99%)
雑費	354	35,340	・管理費～本部経費按分(7.99%) ・事業費～施設経費
その他	－	4,151,319	消費税納付分
計	139,449	14,054,820	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

単位:円
「税込」

3 受託事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	-	
報酬	2,383	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
教育研修費	-	-	
報償費	-	-	
会議費	128	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
交際費	4,659	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
旅費交通費	733	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
通信運搬費	306	28,186	・管理費～本部経費按分(32.03%) ・事業費～施設経費
減価償却費	-	-	
消耗什器備品費	-	-	
消耗品費	1,360	108,900	・管理費～本部経費按分(32.03%) ・事業費～施設経費
修繕費	78	-	
工事請負費	-	-	
印刷製本費	654	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
燃料費	-	-	
光熱水費	-	-	
賃借料	452	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
保険料	621	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
諸謝金	17,326	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)
広告宣伝費	4,705	-	・管理費～本部経費按分(32.03%)

租税公課	988	7,963	・管理費～本部経費按分(32.03%) ・事業費～施設経費
負担金	1,652	－	・管理費～本部経費按分(32.03%)
支払寄付金	－	－	
委託費	1,256	730,379	・管理費～本部経費按分(32.03%) ・事業費～施設経費
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
支払手数料	101	－	・管理費～本部経費按分(32.03%)
雑費	96	－	・管理費～本部経費按分(32.03%)
その他	－	262,024	・消費税支払
計	37,498	1,137,452	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

令和6年度

事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

1 地域スポーツ普及振興事業 (6,216 事業 136,574 人)

(1) 教室事業・交流大会 (6,123 事業 102,725 人)

ア スポーツ教室事業 (6,057 事業 90,658 人)

各施設において、技術の向上や健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した。プール施設における水泳事業では教室自動継続化を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した (5,969 事業 86,022 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそびい・ろ・は」などのスクール事業 (20 事業 210 人)、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」 (4 事業 40 人) を継続実施するとともに、「カーリング教室・体験会」「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (53 事業 4,179 人)、施設間合同事業として市内を 10 グループに分けて施設を横断的に利用する多種目体験型教室「DO! スポKIDS」、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO スポ! シニア健康塾」 (11 事業 207 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

イ スポーツ大会、スポーツイベント事業 (66 事業 12,067 人)

各施設において、「スポーツの日無料開放」 (25 事業 7,921 人) をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、カーリングのウインタースポーツ大会、教室受講生を対象としたダンス発表会などのイベント事業 (32 事業 3,642 人) を開催した。

また、複数の管理施設合同の「泳力検定会」や「わくわくウインターフェスタ」 (9 事業 504 人) を開催した。

(2) 普及啓発事業 (62 事業 19,984 人)

ア ウインタースポーツ塾／受託事業 (2 事業 7 種目 1,268 人)

札幌市からの受託事業として、市内の小学生を対象にウインタースポーツ 7 種目 (アイスホッケー・フィギュアスケート・カーリング・スノーボード・スキージャンプ・クロスカンリースキー・ショートトラック) の体験会の企画・運営を担った。夏季 4 日間 (3 種目 438 人)、冬季 3 日間 (7 種目 830 人) 実施し、計 1,268 人が参加した。

イ さっぽろっ子スケートチャレンジ検定事業／受託事業 (1 事業 929 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象に 3 会場 (月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場) で全 29 回実施。929 人が参加し 1,181 枚の認定証が発行された。

ウ 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 2,041 人／中島公園 9,982 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

エ ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 1,187 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IVV) のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

オ スポーツキャラバン事業 (43 事業 905 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

- (ア) 出前講習会として、イベントや企業における体組成測定や体力測定会を実施（1事業 13人）
- (イ) 指導員派遣として、連合町内会などの講座へ指導員を派遣（4事業 892人）
- (ウ) ニュースポーツ用具のレンタルとして、イベントなどへの用具を貸出（38事業）

カ 小学校水泳授業／受託事業（7事業 3,375人）

札幌市からの受託事業として、西区体育館・温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、東温水プール、白石温水プールの5施設において水泳授業を実施した。伏見小学校(677人)、発寒南小学校(426人)、東橋小学校(291人)、東山小学校(497人)、元町北小学校(585人)、東光小学校（357人）、東札幌小学校（542人）。

キ Let'sやるスポ!中学生／受託事業（1事業 11種目 218人）（うち指定管理施設外：38人）

札幌市からの受託事業として、市内の中学生を対象に部活動の地域連携・地域移行に向けたモデル事業の企画・運営を担った。子どもたちのニーズに応じた多種多様なスポーツ体験の機会を創出することを目的に、従来の学校部活動にはないアーチェリー、ブレイキン、スポーツクライミングなど、計11種目の体験会を実施した。

ク いろスポ!クラブ in 東札幌小／受託事業（1事業 5種目 79人）

札幌市からの受託事業として、総合型地域スポーツクラブの育成を目指したモデル事業の企画・運営を担った。東札幌小学校の児童を対象として、放課後のスポーツ活動機会の提供を目的に、キンボール、かけっこなどの多種目体験型の体験会を実施した。

(3) 地域コミュニティ活性化事業（20事業 9,794人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し、指定管理施設では「手稲スポーツレクリエーション祭」「あつべつスポーツチャレンジ」（16事業 9,636人）、指定管理施設以外では「花いっぱいプロジェクト」（3事業 135人）において地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、水難事故防止を呼び掛けることを目的とした啓発事業「着衣泳体験会」（1事業 23人）を実施した。

(4) 障がい者スポーツの普及促進事業（11事業 4,071人）

ア 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市の障がい者スポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

イ 冬季障がい者スポーツ指導者養成・体験会運営事業（2事業 51人）

サッポロティネなどを会場とし、シットスキーのサポーターとバイスキーの指導者の養成やチェアスキーの理解促進のための研修会を実施するとともに、実践の機会として体験会を実施した。

ウ パラスポーツ体験イベント事業（2事業 930人）

(ア) 区体育館やプールなどの管理施設を会場とし、障がいのある方向けの体験会を15回実施した。

うち2回は北海道教育大学の学生と協力し、未就学児でも参加できるような運動遊具を用いた体験会「みんなのあそびば」を実施した。（1事業 577人）

(イ) 「雪にふれよう！わくわくウインターフェスタ冬季パラスポーツ体験会」として、月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアムにて、パラアイスホッケーとシットスキーの体験会を実施した。（1事業 353人）

エ パラスポーツ体験出張事業（7事業 3,090人）

(ア) 「札幌ウェルネスイベント」におけるボッチャ体験コーナー運営（5事業 2,250人）

(イ) 「さっぽろスポーツスノーフェスタ2025」におけるシットスキー体験コーナー運営（1事業 610人）

(ウ) 「ウインタースポーツフェスティバル」におけるシットスキー体験コーナー運営（1事業 230人）

2 スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等（76 事業 39,054 人）

（1）札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの振興・普及・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的向上に資することを目的に実施した。

ア 第 65 回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開 催 日：5 月 23 日（木）

会 場：札幌サンプラザ コンサートホール

参加者数：177 人

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部補助を行った。

事 業 数：50 事業（50 競技）

※3 競技は未実施。

参加者数：19,187 人（うち指定管理施設外：1,826 人）

（2）第 47 回北海道を歩こう

真駒内から支笏湖までのサイクリングコースを歩く、ウオーキングのイベントを実施した。

開 催 日：5 月 19 日（日）

会 場：真駒内中学校～札幌芸術の森～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種 目：33 km、10 km、6km

参加者数：922 人

（3）リレーマラソン in 札幌ドーム 2024

1 周 2 km の札幌ドーム特設コースをチームで走る、リレーマラソンの大会を実施した。

開 催 日：7 月 15 日（月・祝）

会 場：札幌ドーム

種 目：42.195km リレーマラソン、10km リレーマラソン

参加者数：5,125 人

（4）第 49 回札幌マラソン

マイボトル・マイカップを使用した給水方法でマラソン大会を実施した。

開 催 日：10 月 6 日（日）

会 場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種 目：ハーフマラソン、10 km、ファンペア、車いす 5 km、だれでも 1 km ほか

参加者数：11,796 人

（5）第 45 回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及振興を目的とした国際連盟「ワールドロペット」に国内で唯一加盟する大会で、今年度は少雪の影響により、コースを短縮し実施した。

開 催 日：2 月 2 日（日）

会 場：白旗山競技場及び周辺コース

種 目：スキーマラソン 50 km・25 km、歩くスキー 10 km・4 km

参加人数：767 人（国内 662 人、国外 105 人）

（6）スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業（15 事業 1,080 人）

国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

ア 国際大会誘致・合宿受入支援事業（5 事業 85 人）

（ア）パルクールプレミアカップ 参加者数：20 人

（イ）FIS パラノルディックスキーアジアカップ札幌大会 参加者数：5 か国 35 人

(ウ) 3x3TOURNAMENT 参加者数：10 チーム 30 人

(エ) J リーグシーズン移行にかかるニーズなど調査の実施

(オ) 現行合宿受入自治体と J リーグチームへのヒアリング

イ スポーツツーリズム推進事業（4 事業 635 人）

(ア) ナイトクロカンin中島公園 参加者数：635 人

※以下(イ)～(エ)はさっぽろグローバルスポーツコミッションの加盟する「北海道スキープロモーション協議会」による実施

(イ) 海外スキー博「Ski Dazzle Winter Expo」（ロサンゼルス）への出展

(ウ) 道内スキー場への海外メディア招請による情報発信事業

(エ) 「Powder Snow Hokkaido」への記事掲載

ウ マラソンツーリズム推進事業（3 事業 299 人）

(ア) 街 RUN 中島公園 利用者数：239 人

(イ) 韓国大田広域市とのマラソン交流 参加人数：19 人（受入・派遣合計）

(ウ) 台湾高雄富邦マラソンとの交流 参加人数：41 人（受入・派遣合計）

エ スノーリゾート事業（3 事業 61 人）

※定山渓を中心としたスキーベースタウン構築による周遊型スキー観光促進事業

(ア) モニターツアーの実施 参加者数：49 人

(イ) 海外旅行博（台北・上海）におけるブース出展

(ウ) 海外エージェント招聘及び定山渓ホテルへの説明会 参加者数：12 人

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業

ア スポーツボランティア登録状況・広報

スマイルサポーターズ登録管理、登録者数の増加に向けた PR、会報誌「With Smile」の発行、市内大学での講演による若年層の裾野の拡大

イ スポーツボランティア派遣・研修会

大会・イベントへの派遣、研修会の実施、小学校スキー学習支援事業

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 北海道マラソン 2024 8 月 25 日（日）

イ チャレンジ！スポーツパーク 1 月 7 日（火）・1 月 8 日（水）

ウ ほっかいどう大運動会 2025 2 月 11 日（火）

エ さっぽろスノースポーツパーク 2025 2 月 7 日（金）～2 月 9 日（日）

3 競技力向上・普及促進事業（398 事業 12,091 人）

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体などとの連携、支援に関する事業（1 事業 65 人）

ア 加盟競技団体への支援など

加盟競技団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟競技団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実などについての指導・助言を行った。

また、加盟競技団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

加盟競技団体理事長・事務担当者会議

開催日：3 月 4 日（火）

会場：北海道立総合体育センター

内 容：令和7年度各種補助金事業取扱について ほか

イ スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人 北海道スポーツ協会及び北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

(2) 競技力向上・普及促進事業 (80 事業 9,409 人)

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会 (1 事業 44 人)

開 催 日：2月6日(木)

会 場：ホテルライフオー・札幌

内 容：『えっ！これもスポハラになるの！？効果的な指導方法を知っておこう』

講 師：吉田 聡美 氏 (コンディショニング・ラボ 代表)

参加者数：44 人

イ 競技力向上事業 (54 事業 6,969 人)

(ア) 加盟競技団体が行う選手強化育成事業への経費補助

(28 団体 48 事業、参加者 5,360 人 指導者 827 人) (うち指定管理施設外：2,930 人)

(イ) 加盟競技団体が行う指導者育成事業への経費補助

(4 団体 6 事業、参加者 550 人 指導者 232 人) (うち指定管理施設外：31 人)

ウ 普及促進事業 (25 事業 2,396 人)

(ア) 加盟競技団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(8 団体 15 事業、参加者 853 人 指導者 211 人) (うち指定管理施設外：115 人)

(イ) 加盟競技団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

(8 団体 10 事業、参加者 1,019 人 指導者 313 人) (うち指定管理施設外：625 人)

(3) さっぽろアスリートサポート事業 (76 団体 293 事業 1,124 人)

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業 (2 団体 2 事業 174 人)

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

(大人の長ぐつアイスホッケー大会「長1グランプリ」)

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業 (45 団体 262 事業 603 人)

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(ア) 国際スポーツ大会助成 (2024 年世界ベンチプレス選手権大会～岡山そら／2 位、第 7 次ジャンプ (女子) 遠征～佐藤柚月／個人 20 位、団体 8 位、ほか)

(イ) 全国規模大会助成 (JVA 第 27 回全国ヤングクラブバレーボール大会～札幌バレーボールクラブ／準優勝、2024U-15 全国選抜ジュニアテニス選手権大会～大場 莉子／シングルのベスト 16、ダブルス：2 回戦敗退)

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業 (29 団体 29 事業 347 人)

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。(美香保フィギュアスケートクラブ、札幌ジャンプスポーツ少年団ほか)

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業 (11 事業 648 人)

札幌市から次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、オリンピック出場や国際大会で活躍する選手を目指し、ジュニア世代選手の発掘・育成を行った。

ア 発掘事業（2事業 530人）

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストや検証プログラムを行い、スポーツ戦略アドバイザー（阿部雅司氏）を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として8名選出した。

(ア) 12月22日（日）スポーツ能力測定会（北ガスアリーナ札幌 46）参加者 482人

(イ) 2月11日（火）第4期発掘プロジェクト選考会（中島体育センター）参加者 48人（8人選出）

イ さっぽろジュニアスリート発掘プロジェクト（1事業 22人）

発掘プロジェクト選考会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、ジュニア期に必要なトレーニングや研修会、育成8種目の練習会などを年間170日実施した。また、小学校4～6年生は合宿において、他自治体のタレント発掘事業と合同トレーニングを実施した。

(ア) U-12 スキー 愛媛県強化合宿 参加者数：6人

(イ) 6年生 東京都強化合宿 参加者数：8人

(ウ) U-12 カーリング 青森県強化合宿 参加者数：2人

(エ) U-12 陸上 福岡県強化合宿 参加者：6人

ウ 育成事業（8事業 96人）

冬季5種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディックコンバインド）・夏季3種目、（陸上、バドミントン、テニス）の競技団体と連携し、長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・国外合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

【全育成種目による合同研修会】

(ア) 6月16日（日）トレーニング実践①（北区体育館）

(イ) 8月2日（金）トップアスリート研修会（平岸庭球場）

(ウ) 11月24日（日）トレーニング実践②（北区体育館）

(エ) 11月28日（木）・29日（金）スポーツ栄養セミナー（中島体育センター／オンライン）

(5) トップアスリート活用の取組（13事業 845人）

ウィンタースポーツのすそ野の拡大や競技力向上を図ることを目的に、名誉館長として月寒体育館に藤本那菜氏、どうぎんカーリングスタジアムに小笠原歩氏を配置し、イベントにおける利用者との触れ合いや教室受講生への指導を行ったほか、カーリング愛好者を対象とした交流大会を実施した。また、トップアスリートを活用した自主事業として、美香保体育館では小塚崇彦氏による初心者・経験者向けのスケート教室を実施し、星置スケート場では鈴木雄大氏による経験者向けのアイスホッケー教室を実施した。

4 スポーツ少年団の普及・育成事業（27事業 8団体 8,425人）

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った（登録数 169団 3,377人）。

(1) 派遣事業（6事業 69人）

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア 第62回全国スポーツ少年大会

開催日：7月27日（土）～30日（火）

会場：秋田県田沢湖スポーツセンター

参加者数：3人

イ 第50回北海道スポーツ少年大会

開催日：7月31日（水）～8月2日（金）

会場：北海道青少年会館「コンパス」

参加者数：10人

ウ 第39回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会

開催日：7月13日（土）～15日（月祝）

会場：旭川ドリームスタジアムほか

参加者数：1チーム（16人）

エ 第22回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日：9月14日（土）・15日（日）

会場：深川市総合体育館ほか

参加者数：団体男子1チーム（9人）、女子1チーム（12人）

オ 第39回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：11月30日（土）～12月1日（日）

会場：砂川市総合体育館

参加者数：団体2チーム（10人）、個人男子2人、個人女子：2人

カ 第47回日本スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：3月28日（金）～30日（日）

会場：大分県レゾナック武道スポーツセンター

参加者数：1チーム（5人）

(2) リーダー養成・育成事業（2事業 18人）

ア 札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開催日：11月30日（土）

会場：中島体育センター

参加者数：11人

内容：講義「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」

実技「運動適性テスト」

講師：講義…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター 島本 俊男 氏

実技…スポーツ少年団体力テスト認定員 三浦 淳 氏

イ 札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会

開催日：2月22日（土）・23日（日）

会場：深川市ネイバル深川

参加者数：7人

内容：創作体験（お米パンとお米シフォンケーキ作り）、班別対抗大運動会、「年齢が異なる参加者全員が楽しく実施できるレクリエーション」の計画及び実践、リーダー活動についての意見交換、先輩リーダーからの体験談発表、ニュースポーツ体験 等

その他：深川市スポーツ少年団（指導者1人 団員5人）との交歓交流事業として実施

(3) 各種目交流大会（11種目 17事業 8,319人）

軟式野球（2事業 1,900人）、サッカー（2事業 656人）、ミニバスケットボール（2事業 3,678人）、剣道（2事業 1,155人）、空手（1事業 303人）、バドミントン（2事業 290人）、少林寺拳法（1事業 67人）、冬季スポーツ（2事業 107人）、バレーボール（1事業 60人）、ソフトテニス（1事業 42人）、綱引（1事業 61人）競技の交流大会を開催した。

(4) 指導者育成事業（1事業 17人）

ア 指導者・母集団研修会の開催

開催日：2月15日（土）

会場：中島体育センター

参加者数：17人

内容：『スポハラってどんな事！？ レベルに合わせた指導方法の仕方』

講師：吉田 聡美 氏：コンディショニング・ラボ 代表

その他：令和7年度登録、スポーツ少年団指導者資格についての事務説明

(5) 表彰（1事業 2団体 2人）

札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：2団体、育成者の部：2人

5 健康・体力づくり推進事業（健康づくりセンター 344事業 42,694人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（45事業 35,928人）

ア 健康増進・健診事業（8事業 5,224人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4事業 1,180人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4事業 4,044人）。

イ 運動指導事業（37事業 30,704人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム（17事業 29,795人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（2事業 554人）。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った（18事業 355人）。

(2) 健診・指導事業／受託事業（7事業 311人）

ア 健診事業（4事業 288人）

西健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（3事業 23人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（292事業 6,455人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（193事業 4,534人）のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（76事業 614人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者などを対象とした研修会などを開催した（23事業 1,307人）。

このほか、令和5年10月からの中央健康づくりセンター改修工事休館による自主事業休止に伴い、教室受講者などの運動継続を目的に、中島体育センターにて健康サポート教室を実施した（89事業 1,123人：自主事業に含めず）。

(4) 健康づくり・スポーツ施設との連携事業（5事業 202人：事業数に含めず）

体育館を利用する高齢者などをターゲットとして、健康づくりセンターの健康サポート教室（膝痛・腰痛などの運動器疾患や高齢者を対象とした運動教室）を体育館においても実施することで、新たなニーズの掘り起こしと健康度測定受診者の拡大を図った。

(5) ウェルネスの取組を通じた普及啓発事業（4事業 114人：事業数に含めず）

ア 市民に対する普及啓発の取組

協会 SNS や其他媒体及びスポーツ施設を会場とした健康情報の動画配信を行い、健康づくりイベントを実施した。（SNS等の情報発信34件、イベントほか実施5件 201人）

イ 企業に対する普及啓発の取組（健康経営サポート事業）

企業が抱える健康課題に対する健康支援として、生活習慣病予防等の健康セミナーや運動プログラムの提供を行う事業の提案を企業に向けて行った。（1事業 5件）

ウ さっぽろウェルネス★スタートプログラム事業

札幌市における「札幌市の運動習慣化に向けた取組（運動・スポーツ習慣化促進事業）」に参画し、主に「働く世代」を対象とした運動習慣化プログラムを実施した。（2事業 52人）

エ 「身体診断」セルフチェック体験・相談会

市民の健康寿命の延伸等に向けて、スポーツで得られた医・科学的知見の活用により、市民の健康増進を図ることを目的に、「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」との連携により実施するモデル事業を札幌市より委託を受け、西健康づくりセンターにて実施した。（1事業 62人）

6 施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況／指定管理事業（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
北ガスアリーナ札幌46		105,167	186,816	291,983
中島体育センター		51,469	73,016	124,485
北区体育館		104,977	67,730	172,707
東区体育館		75,483	60,234	135,717
白石区体育館		90,967	91,470	182,437
厚別区体育館		67,581	80,628	148,209
豊平区体育館		38,546	33,604	72,150
清田区体育館・温水プール		123,643	89,106	212,749
	体育館	81,074	66,493	147,567
	プール	40,502	22,613	63,115
	体育館・プール共通	2,067	—	2,067
白旗山競技場		2,050	25,506	27,556
南区体育館		78,621	51,032	129,653
西区体育館・温水プール		203,502	94,233	297,735
	体育館	124,628	68,908	193,536

	プ	ー	ル	77,225	25,325	102,550
	体	育	館・プール共通	1,649	—	1,649
	宮	の	沢屋内競技場	7,371	32,689	40,060
	手	稲	区体育館	58,405	52,933	111,338
合			計	1,007,782 (前年度 939,972)	938,997 (前年度 914,232)	1,946,779 (前年度 1,854,204)

※豊平区体育館：競技室天井の改修工事のため R6.6～R7.3 競技室のみ休館

※手稲区体育館：防水、ドレン改修及び競技室、体育室壁改修工事のため R6.8～R6.12 競技室のみ休館

イ 札幌市温水プールグループ

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
東 温 水 プ ー ル	69,812	30,720	100,532
白 石 温 水 プ ー ル	34,375	36,973	71,348
厚 別 温 水 プ ー ル	63,323	34,795	98,118
豊 平 公 園 温 水 プ ー ル	32,630	28,912	61,542
平 岸 プ ー ル	87,710	49,082	136,792
手 稲 曙 温 水 プ ー ル	54,330	32,931	87,261
合 計	342,180 (前年度 307,668)	213,413 (前年度 188,025)	555,593 (前年度 495,693)

ウ 札幌市美香保体育館

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
体 育 館	4,841	40,526	45,367
ス ケ ー ト 場	26,280	9,857	36,137
公 園 野 球 場	—	44,690	44,690
合 計	31,121 (前年度 28,168)	95,073 (前年度 84,126)	126,194 (前年度 112,294)

エ 札幌市スケート施設グループ

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
月 寒 体 育 館	63,008	56,248	119,256
体 育 館	30,550	6,807	37,357
ス ケ ー ト 場	32,458	49,441	81,899
月 寒 屋 外 競 技 場	1,068	17,468	18,536
ラ グ ビ ー 場	—	11,110	11,110
庭 球 場	—	5,879	5,879
弓 道 場	1,068	479	1,547
どうぎんカーリングスタジアム	—	24,280	24,280
星 置 ス ケ ー ト 場	8,883	38,109	46,992

合	計	72,959 (前年度 62,752)	136,105 (前年度 161,667)	209,064 (前年度 224,419)
---	---	------------------------	--------------------------	--------------------------

※どうぎんカーリングスタジアム：札幌市による保全工事のため R6. 2～R6. 10 休館

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施 設 名		個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
円 山 総 合 運 動 場		22,657	224,006	246,663
	野 球 場	—	94,207	94,207
	陸 上 競 技 場	22,657	77,932	100,589
	庭 球 場	—	51,867	51,867
	ス ケ ー ト 場	—	—	0
麻 生 球 場		—	54,317	54,317
	野 球 場	—	51,960	51,960
	庭 球 場	—	2,357	2,357
厚 別 公 園 競 技 場		—	—	0
	主 競 技 場	—	—	0
	補 助 競 技 場	—	—	0
	ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	—	—	0
	共 通	—	—	0
平 岸 庭 球 場		—	17,821	17,821
合	計	22,657 (前年度 55,464)	296,144 (前年度 440,743)	318,801 (前年度 496,207)

※厚別公園競技場：札幌市による保全工事のため R6. 4～R8. 3 休館

カ 札幌市スポーツ交流施設

施 設 名		個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
	屋 内 グ ラ ウ ン ド	72,973	661,248	734,221
	屋 外 テ ニ ス コ ー ト	—	8,431	8,431
	パ ー ク ゴ ル フ 場	9,898	—	9,898
	屋 外 球 技 場	—	5,734	5,734
	イ ベ ン ト 広 場	—	2,662	2,662
合	計	82,871 (前年度 77,533)	678,075 (前年度 824,188)	760,946 (前年度 901,721)

(単位：人)

体 育 施 設 合 計	3,917,377 前年度 (4,084,538)
-------------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況／指定管理事業（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	0	—	0
東健康づくりセンター	27,947	—	27,947
西健康づくりセンター	101,597	—	101,597
合 計	129,544 (前年度 200,769)	— (前年度 —)	129,544 (前年度 200,769)

※中央健康づくりセンター：札幌市による保全工事のためR5.10～R6.4 休館

【全施設合計(1)+(2)】（単位：人）

今年度利用者数	4,046,921
前年度利用者数	4,285,307
増 減	△238,386

(3) 学校施設の開放事業／受託事業（単位：人）

ア センター管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	169校	25校	17校	16校	227校
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	651,908 (前年度 582,770)	11,842 (前年度 12,423)	19,437 (前年度 18,180)	7,014 (前年度 5,162)	690,201 (前年度 618,535)

イ 自主管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	107校	1校	108校
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	644,087 (前年度 606,675)	461 (前年度 443)	644,548 (前年度 607,118)

ウ プール開放の利用状況／指定管理事業

施設区分	プー ル
開放校数	36校
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	5,232 (前年度 4,824)

【学校施設の開放合計 ア+イ+ウ】（単位：人）

今年度利用者数	1,339,981
前年度利用者数	1,230,477
増 減	109,504

7 情報提供及び調査研究

(1) 加盟競技団体情報の収集・提供

当協会ホームページにおいて各加盟競技団体の基本情報を紹介するとともに、ホームページの相互リンクを行い、利用者の利便性を向上した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

SNS、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっばーなど）。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(5) お客様満足度の調査及び情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況などについて集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見などを収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

8 社会貢献事業等

(1) スポーツ経営人材の育成及び活用

ア 「事業連携包括協定」の締結と協働事業

北翔大学との「事業連携包括協力協定」により、大会の運営に学生が携わった（6大会 118人）。

イ インターンシップ受入事業

インターンシップや職場体験学習を受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した。

(2) スポーツを通じた社会貢献事業

ア プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) パートナー契約の締結

北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道、レバンガ北海道、北海道イエロースターズ、アルテミス北海道

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドルズ」と「チアダンス教室」を協働開催した。

(ウ) 手稲区体育館にてコンサドーレサッカースクールを協働開催した。

(エ) エスポラーダ北海道と北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクール、南区体育館にてフットサルスクールを協働開催した。

(オ) 北ガスアリーナ札幌 46、清田区体育館・温水プール、西区体育館・温水プール、手稲区体育館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催した。

(カ) 北海道日本ハムファイターズと手稲区体育館にてファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催した。

イ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

ウ 役員就任など

「札幌市中学校体育連盟選手権大会、新人戦大会顧問」など、役員への就任による運営協力、「北海道卓球選手権大会兼全日本予選会」「札幌年齢別水泳競技大会」などのスポーツ大会の後援（97事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(3) 地域貢献事業

ア 地域の環境保全及び防犯活動

植栽などの実施、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。また、地域における防犯・安全活動への協力として、29施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども110番の店として防犯活動を推進した。

イ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

ウ 募金活動及び献血への協力

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した（募金額：155,649円）。また、「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

エ 地域コミュニティ活性化事業（20事業 9,724人）（再掲） 区役所、商店街組合、町内会などと連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした水上安全無料講習会などの啓発事業を実施した。

(4) サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

9 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	4,046,921
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,339,981
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	47,358
合 計	5,434,260 (前年度 5,576,058)
増 減	△141,798

(2) 収支

収 入 4,512,828,469 円

経 費 4,520,287,501 円

10 処務の概況

(1) 令和6年度末役員・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会 長	生島 典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理 事 長	鈴木 和弥	R6. 4. 1	R6. 4. 1	常 勤
常務理事	柴田 幸雄	R2. 6. 26	R5. 6. 28	常 勤
常務理事	長澤 茂嗣	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	川島 行雄	H27. 6. 26	R5. 6. 28	常 勤
理 事	沖 洋安	R元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理 事	沖田 孝一	R元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理 事	野坂 政司	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	佐藤 勝美	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理 事	山崎 文子	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
理 事	北島(川端) 絵美	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監 事	酒井 隆	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監 事	梅津 太	R7. 3. 26	R7. 3. 26	非常勤
評 議 員	川初 清典	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	晴山 紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	柳原 正明	H28. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	堀田 真理	H29. 6. 29	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	平澤 光志	R2. 4. 1	R6. 6. 27	非常勤
評 議 員	紺谷 好範	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	阿部 雅司	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評 議 員	金谷 泰亨	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
評 議 員	西村 達也	R6. 6. 27	R6. 6. 27	非常勤

(2) 令和6年度末職員数（単位：人）

職種／性別	男 性	女 性	合 計
総 合 職 員	90	41	131
職務限定職員	33	33	66
再雇用職員等	15	0	15
契 約 職 員	33	21	54
臨 時 職 員	0	0	0
パートタイム職員	221	359	580
合 計	392	454	846

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和6年4月1日（月）	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 常勤役員報酬規程の改正について (3) 第3号議案 理事の職務及び権限に関する規程の改正について
第2回 令和6年6月12日（水）	(1) 第1号議案 令和5年度事業報告について (2) 第2号議案 令和5年度決算及び監査報告について (3) 第3号議案 令和5年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 令和6年度定時評議員会の開催について (5) 報告第1号 東温水プールにおける火災及び現金紛失事故について
第3回 令和6年6月27日（木）	(1) 第1号議案 令和6年度収支予算の変更について (2) 第2号議案 スポーツ振興事業助成金実施調査における指摘事項の改善方策の提出について (3) 第3号議案 諸規程の改正について
第4回 令和6年10月29日（火）	(1) 第1号議案 職務限定職員就業規程等の改正について (2) 第2号議案 再雇用職員就業規程の改正について (3) 第3号議案 福利厚生事業規則の改正について (4) 第4号議案 研究倫理審査委員会設置規程の新設について (5) 第5号議案 参与の選任について (6) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)
第5回（書面開催） 令和7年2月27日（木）	(1) 第1号議案 評議員会の開催について
第6回 令和7年3月26日（水）	(1) 第1号議案 令和7年度事業計画について (2) 第2号議案 令和7年度収支予算について (3) 第3号議案 理事の職務及び権限に関する規程の改正について (4) 第4号議案 会社役員賠償責任保険の加入と内容について (5) 第5号議案 育児介護休業法改正に関連する規程の改正について (6) 第6号議案 職員給与規程等の改正について (7) 第7号議案 諸規程の改正について (8) 第8号議案 加盟団体代表者委員会設置規程の新設について (9) 第9号議案 重要な使用人の選任について (10) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和6年6月27日（木）	（１）報告第1号 令和5年度事業報告について （２）報告第2号 令和5年度公益目的支出計画実施報告について （３）報告第3号 東温水プールにおける火災及び現金紛失事故について （４）第1号議案 令和5年度決算及び監査報告について （５）第2号議案 評議員の選任について
第2回評議員会 令和7年3月26日（水）	（１）第1号議案 役員の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期	令和6年 3月期	令和7年 3月期
経 常 収 益	4,281,698	3,601,812	3,744,595	4,256,330	4,406,900	4,512,828
経 常 費 用	4,316,136	3,742,355	3,949,300	4,287,347	4,421,479	4,520,287
当期経常増減額	△34,438	△140,543	△204,705	△31,017	△14,579	△7,459
経 常 外 収 益	93,483	165,566	254,205	-	-	1,543
経 常 外 費 用	-	-	-	-	-	-
法 人 税 等	29,012	520	41,169	520	520	520
当期一般正味財産増減額	30,033	△24,504	8,331	△31,537	△15,099	△6,436
期首一般正味財産額	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546
期末一般正味財産額	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546	1,472,110
当期指定正味財産増減額	-	52,000	△13,000	△13,000	△13,000	△12,490
期首指定正味財産額	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000
期末指定正味財産額	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000	20,510
期 末 正 味 財 産 額	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546	1,492,620
資 産 合 計	2,969,520	2,872,565	3,008,356	2,836,602	2,776,329	2,792,363
負 債 合 計	1,457,173	1,283,714	1,424,174	1,296,957	1,264,783	1,299,743
正 味 財 産	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546	1,492,620

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	461,482,517	469,662,110	△ 8,179,593
売掛金	19,240	0	19,240
商品	2,326,469	1,812,984	513,485
貯蔵品	7,647,576	9,151,500	△ 1,503,924
未収金	930,570,824	871,100,958	59,469,866
立替金	1,378,205	959,929	418,276
預け金	11,338,850	41,305,142	△ 29,966,292
前払費用	6,522,771	6,864,493	△ 341,722
流動資産合計	1,421,286,452	1,400,857,116	20,429,336
2 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	594,620,370	615,282,940	△ 20,662,570
什器備品購入積立資産	65,000,000	65,000,000	0
減価償却引当資産	178,163,000	179,485,000	△ 1,322,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	33,419,248	46,419,248	△ 13,000,000
特定資産合計	1,254,002,618	1,288,987,188	△ 34,984,570
(3) その他固定資産			
建 物	3,892,826	4,356,563	△ 463,737
車両運搬具	13	15	△ 2
什器備品	34,145,501	29,664,672	4,480,829
ソフトウェア	27,788,865	25,617,407	2,171,458
リース資産	30,742,480	6,322,870	24,419,610
電話加入権	456,859	456,859	0
リサイクル預託金	47,630	66,210	△ 18,580
その他固定資産合計	97,074,174	66,484,596	30,589,578
固定資産合計	1,371,076,792	1,375,471,784	△ 4,394,992
資 産 合 計	2,792,363,244	2,776,328,900	16,034,344
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
買掛金	1,213,658	842,669	370,989
未払金	332,650,101	273,541,650	59,108,451
未払法人税等	520,000	520,000	0
未払消費税等	34,926,900	36,926,900	△ 2,000,000
未払費用	155,499,050	167,443,423	△ 11,944,373
前受金	50,105,730	52,405,050	△ 2,299,320
預り金	10,837,981	22,525,419	△ 11,687,438
リース債務	6,480,734	3,066,224	3,414,510
賞与引当金	84,587,728	88,152,291	△ 3,564,563
流動負債合計	676,821,882	645,423,626	31,398,256
2 固 定 負 債			
リース債務	28,301,219	4,076,088	24,225,131
退職給付引当金	594,620,370	615,282,940	△ 20,662,570
固定負債合計	622,921,589	619,359,028	3,562,561
負 債 合 計	1,299,743,471	1,264,782,654	34,960,817
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出捐金	20,000,000	20,000,000	0
寄付金	509,873	13,000,000	△ 12,490,127
指定正味財産合計	20,509,873	33,000,000	△ 12,490,127
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(13,000,000)	△ 13,000,000
2 一般正味財産	1,472,109,900	1,478,546,246	△ 6,436,346
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(659,382,248)	(660,704,248)	△ 1,322,000
正味財産合計	1,492,619,773	1,511,546,246	△ 18,926,473
負債及び正味財産合計	2,792,363,244	2,776,328,900	16,034,344

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,377,252	399,801	977,451
② 事業収益			
参加料収益	66,678,909	61,395,167	5,283,742
協賛金収益	24,210,747	16,506,770	7,703,977
広告料収益	6,954,546	1,900,000	5,054,546
受講料収益	646,320,171	628,503,371	17,816,800
委託料収益	385,001,944	375,412,273	9,589,671
利用料収益	797,657,554	752,330,059	45,327,495
指定管理費用収益	2,354,523,192	2,336,290,033	18,233,159
測定料収益	3,370,138	3,064,214	305,924
健診料収益	2,213,020	2,166,548	46,472
指導員派遣収益	923,514	177,912	745,602
売上収益	38,352,081	44,664,927	△ 6,312,846
登録料収益	1,007,100	1,155,681	△ 148,581
その他収益	12,725,813	22,682,427	△ 9,956,614
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	123,415,075	121,684,775	1,730,300
受取民間補助金	4,230,000	5,274,300	△ 1,044,300
その他補助金	11,999,000	0	11,999,000
④ 受取負担金			
受取負担金	5,447,714	14,506,931	△ 9,059,217
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	5,955,481	0	5,955,481
受取寄付金振替額	13,921,731	13,000,000	921,731
⑥ 雑収益			
雑収益	6,543,487	5,785,282	758,205
経常収益計	4,512,828,469	4,406,900,471	105,927,998
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	9,675,000	10,569,000	△ 894,000
給料手当	1,144,312,167	1,144,433,992	△ 121,825
退職給付費用	46,443,221	53,163,589	△ 6,720,368
臨時雇賃金	504,334,392	489,896,713	14,437,679
法定福利費	202,470,606	207,932,824	△ 5,462,218
福利厚生費	25,746,281	21,844,529	3,901,752
仕入高	9,661,909	8,558,455	1,103,454
報酬	247,698,105	240,898,198	6,799,907
教育研修費	3,457,623	4,055,684	△ 598,061
報償費	31,586,758	24,670,404	6,916,354
会議費	672,095	34,916	637,179
接待交際費	1,808,630	1,744,178	64,452
旅費交通費	10,225,311	13,166,251	△ 2,940,940
通信運搬費	14,941,457	13,129,081	1,812,376
減価償却費	26,839,456	17,245,229	9,594,227
消耗什器備品費	13,331,060	11,294,560	2,036,500
消耗品費	99,713,247	100,503,776	△ 790,529
修繕費	49,182,561	51,089,294	△ 1,906,733
印刷製本費	5,939,311	5,359,644	579,667
燃料費	4,671,319	5,139,197	△ 467,878
光熱水費	900,351,633	854,301,547	46,050,086
賃借料	42,204,310	40,857,428	1,346,882

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	10,211,791	11,384,869	△ 1,173,078
諸謝金	7,858,454	7,518,730	339,724
広告宣伝費	11,961,628	12,404,599	△ 442,971
租税公課	16,542,094	16,027,263	514,831
支払負担金	4,269,072	4,771,352	△ 502,280
支払寄付金	17,327,320	13,000,000	4,327,320
委託費	898,735,957	876,068,026	22,667,931
支払利息	399,175	159,055	240,120
支払助成金	40,912,947	42,093,077	△ 1,180,130
支払手数料	15,771,623	14,908,065	863,558
雑費	1,227,492	1,875,635	△ 648,143
② 管理費			
役員報酬	9,675,000	10,569,000	△ 894,000
給料手当	61,776,541	62,588,302	△ 811,761
退職給付費用	2,643,109	3,075,581	△ 432,472
法定福利費	11,678,318	13,010,844	△ 1,332,526
福利厚生費	890,239	879,056	11,183
報酬	908,000	834,500	73,500
会議費	44,671	7,603	37,068
接待交際費	1,620,104	267,584	1,352,520
旅費交通費	253,978	318,039	△ 64,061
通信運搬費	105,800	65,494	40,306
消耗品費	471,130	500,786	△ 29,656
修繕費	27,000	0	27,000
印刷製本費	226,680	138,000	88,680
賃借料	145,137	0	145,137
保険料	236,600	283,100	△ 46,500
諸謝金	6,000,185	6,100,625	△ 100,440
広告宣伝費	1,600,027	1,385,600	214,427
租税公課	376,208	249,155	127,053
支払負担金	616,425	656,166	△ 39,741
委託費	435,110	370,650	64,460
支払手数料	37,534	43,434	△ 5,900
雑費	35,700	36,800	△ 1,100
経常費用計	4,520,287,501	4,421,479,479	98,808,022
当期経常増減額	△ 7,459,032	△ 14,579,008	7,119,976
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	1,542,726	0	1,542,726
経常外収益計	1,542,726	0	1,542,726
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	40	93	△ 53
経常外費用計	40	93	△ 53
当期経常外増減額	1,542,686	△ 93	1,542,779
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,916,346	△ 14,579,101	8,662,755
法人税、住民税及び事業税	520,000	520,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,436,346	△ 15,099,101	8,662,755
一般正味財産期首残高	1,478,546,246	1,493,645,347	△ 15,099,101
一般正味財産期末残高	1,472,109,900	1,478,546,246	△ 6,436,346
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,431,604	0	1,431,604
一般正味財産への振替額	△ 13,921,731	△ 13,000,000	△ 921,731
当期指定正味財産増減額	△ 12,490,127	△ 13,000,000	509,873
指定正味財産期首残高	33,000,000	46,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産期末残高	20,509,873	33,000,000	△ 12,490,127
III 正味財産期末残高	1,492,619,773	1,511,546,246	△ 18,926,473

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法を採用している。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用している。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法によっている。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建 物	7 ～ 35年
車 両 運 搬 具	3 ～ 5年
什 器 備 品	2 ～ 20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用している。なお、財団法人利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間(5年)に基づいている。

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金 … 従業員の職員賞与に備えるため、当事業年度に帰属する支給見込額について計上している。

退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(6) 税効果会計の適用について

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
決済用預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	615,282,940	37,994,400	58,656,970	594,620,370
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	0	65,000,000
減価償却引当資産	179,485,000	5,100,000	6,422,000	178,163,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	0	355,000,000
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	0	17,800,000
競技スポーツ普及促進積立資産	46,419,248	0	13,000,000	33,419,248
小 計	1,288,987,188	43,094,400	78,078,970	1,254,002,618
合 計	1,308,987,188	43,094,400	78,078,970	1,274,002,618

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0	0
小 計	20,000,000	20,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	594,620,370	0	0	615,282,940
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	65,000,000	0
減価償却引当資産	178,163,000	0	179,485,000	0
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	0	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	33,419,248	0	33,419,248	0
小 計	1,254,002,618	0	660,704,248	615,282,940
合 計	1,274,002,618	20,000,000	660,704,248	615,282,940

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,189,305	7,296,479	3,892,826
車両運搬具	30,321,491	30,321,478	13
什器備品	187,306,592	153,161,091	34,145,501
ソフトウェア	122,668,387	94,879,522	25,478,865
リース資産	36,451,962	5,709,482	30,742,480
合 計	387,937,737	291,368,052	94,259,685

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

8. 保証債務等の偶発債務

なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
退職給付引当			
投資有価証券			
(北海道公募公債r6-10)	100,000,000	98,540,000	△ 1,460,000
(札幌市公募公債r6-9)	100,000,000	99,010,000	△ 990,000
(NOMURA EUROPE FINACE N.V)	50,000,000	41,990,000	△ 8,010,000
減価償却引当			
投資有価証券			
(札幌市公募公債r5-8-3)	10,000,000	9,691,530	△ 308,470
合 計	260,000,000	249,231,530	△ 10,768,470

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
第49回札幌マラソン	札幌市	0	17,000,000	17,000,000	0	
第45回札幌国際スキーマラソン大会	〃	0	11,610,000	11,610,000	0	
第47回北海道を歩こう	〃	0	810,000	810,000	0	
令和6年度さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業	〃	0	13,000,000	13,000,000	0	
令和6年度第65回札幌市民スポーツ大会事業	〃	0	8,423,000	8,423,000	0	
令和6年度競技力育成強化・普及促進事業	〃	0	14,032,000	14,032,000	0	
令和6年度さっぽろアスリートサポート事業	〃	0	15,000,000	15,000,000	0	
令和6年度札幌市スポーツ少年団運営事業	〃	0	600,000	600,000	0	
さっぽろグローバルスポーツコミッション運営費	〃	0	28,000,000	28,000,000	0	
令和6年度スノーパースタウンSAPPORO促進事業(JZK)	〃	0	12,440,075	12,440,075	0	
地域観光新発見事業(JZK)	観光庁	0	11,999,000	11,999,000	0	
令和6年度地域づくり総合交付金(ナイトロカン)	北海道石狩振興局	0	2,500,000	2,500,000	0	
令和5年度地方体育・スポーツ協会連絡協議会助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会	0	50,000	50,000	0	
令和6年度北海道スポーツ少年団組織整備強化事業助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団	0	500,000	500,000	0	
さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業助成金	公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団	0	800,000	800,000	0	
リレーマラソン2024助成金	(独)日本スポーツ振興センター	0	2,880,000	2,880,000	0	
合 計		0	139,644,075	139,644,075	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	13,921,731
目的達成による指定解除額	
合 計	13,921,731

12. 関連当事者との取引の内容

(単位:円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	決議権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員・業務等	事実上の関係				
当該法人を支配する法人	札幌市	札幌市中央区北2条西1丁目	—	地方公共団体	—	—	出資団体	施設管理運営に係る指定管理料等	2,354,523,192	未収金	790,054,006
								事業補助金	120,915,075	—	—
								学校開放事業、運動・健診事業委託料等	387,261,221	未収金	93,059,328

13. 重要な後発事象
な し

14. その他

(1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引
リース資産の内容
 その他固定資産
 各施設における券売機及び複合機等である。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要
 確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務に関する事項(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

①退職給付債務	594,620,370
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	594,620,370

③ 退職給付費用に関する事項(自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日)

(単位:円)

①勤務費用	49,086,330
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付費用(①+②)	49,086,330

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項
 退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として、計算している。

⑤ 会計基準変更時差異の処理年数 1年

⑥ 過去勤務債務の額の処理年数 1年

(3) 税効果会計関係

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

繰延資産損金算入限度超過額	1,984,697
未払事業所税否認	4,746,134
未払事業税	0
賞与引当金	24,056,201
一括償却資産	4,049,350
退職給付引当金繰入金超過額	109,466,418
繰延税金資産計	144,302,800
評価性引当額	△ 144,302,800
繰延税金資産 合計	0

② 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位:円)

	非収益事業	収益事業	合 計
税引前当期一般正味財産増減額 (A)	148,202,934	△ 154,119,280	△ 5,916,346
寄付金損金算入限度額 (B)	0	0	0
小 計 (C) = (A) + (B)	148,202,934	△ 154,119,280	△ 5,916,346
法人税、住民税及び事業税 (D)	0	520,000	520,000
法人税等調整額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (A) - (D) - (E)	148,202,934	△ 154,639,280	△ 6,436,346

③ 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

税引前当期一般正味財産増減額がマイナスとなっているため記載を省略いたします。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	88,152,291	84,587,728	88,152,291	0	84,587,728
退職給付引当金	615,282,940	37,994,400	58,656,970	0	594,620,370

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	39,287,150
	預金	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店 ㈱北洋銀行東屯田支店 ㈱ゆうちょ銀行小樽貯金事務センター	運転資金として " " "	422,034,105 152,142 9,120
	売掛金		売店商品の売買代金	19,240
	商品		売店販売用として	2,326,469
	貯蔵品		事業で使用する物品在庫	7,647,576
	未収金		施設利用料金等	930,570,824
	立替金		職員の雇用保険等	1,378,205
	預け金		現金回収業務委託における預け金	11,338,850
	前払費用		保険料の前払い等	6,522,771
流動資産合計				1,421,286,452
(固定資産)	基本財産	預金	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	法人会計保有財産 20,000,000
	特定資産	退職給付引当資産	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	職員の退職金支払いに備えたもの 344,620,370
		投資有価証券 北海道公募公債r6-10 札幌市公募公債r6-9 NOMURA EUROPE FINACE N.V		100,000,000 100,000,000 50,000,000
		什器備品購入 積立資産	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	備品の購入に備えたもの 65,000,000
		減価償却引当資産	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	減価償却引当に備えたもの 168,163,000
			投資有価証券 札幌市公募公債r5-8	減価償却引当に備えたもの 10,000,000
		事務所移転費用 積立資産	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	事務局移転に備えたもの 10,000,000
		指定管理対策費用	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	指定管理者制度への対策費用 355,000,000
		健康スポーツ推進 積立資産	決済用預金 ㈱北洋銀行東屯田支店	健康スポーツ事業実施に充てるための資産 17,800,000
		競技スポーツ普及 促進積立資産	決済用預金 ㈱北海道銀行行啓通支店	33,419,248
	その他固定資産	建物	車庫等	保有車両等保管用として 3,892,826
		車両運搬具	トラック等業務用車両	健康スポーツ事業等にて使用するため 13
		什器備品	トレーニング器具等	健康スポーツ事業等にて使用するため 34,145,501
		ソフトウェア	会計システム等	27,788,865
		リース資産	複合機等	健康スポーツ事業等にて使用するため 30,742,480
		電話加入権		456,859
		リサイクル預託金		47,630
固定資産合計				1,371,076,792
資産合計				2,792,363,244

(単位:円)

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)	買掛金		売店商品の仕入未払分	1,213,658
	未払金		その他会計等の経費他の未払分	332,650,101
	未払法人税等		法人税等の未払分	520,000
	未払消費税等		消費税の未払分	34,926,900
	未払費用		職員等の給与未払分	155,499,050
	前受金		健康スポーツ事業参受講料等の前受分	50,105,730
	預り金		源泉所得税等の預り分	10,837,981
	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	6,480,734
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	84,587,728
流動負債合計				676,821,882
(固定負債)	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	28,301,219
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金支払いに備えたもの	594,620,370
固定負債合計				622,921,589
負債合計				1,299,743,471
正味財産				1,492,619,773